

インドネシア
かんがい排水施工技術センター計画
帰国専門家報告書 II

短期専門家(モニタリング)
REPORT OF EXPERT
Short Term Expert
(Monitoring)

昭和60年1月

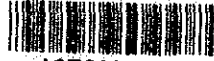
国際協力事業団(JICA)

農開技

JR

85-17

JICA LIBRARY



1056039[9]

UNIVERSITY OF TORONTO
LIBRARY
130 St. George Street
Toronto, Ontario M5S 1A5
CANADA

国際協力事業団	
受入 月日 '85. 5. 30	108
	83.3
登録No. 11497	ADT

は し が き

インドネシアかんがい排水施工技術センター計画は、インドネシア国における食糧の増産を目的とした農業基盤整備事業を重点的に実施する為、かんがい技術者の資質の向上を目的として昭和56年4月1日から5カ年のプロジェクト方式の技術協力として開始された。

これまで、R/Dのマスタープラン活動6項目について活動が進められ、モニタリングを始めとする分野に長期・短期専門家が派遣された。

本報告書は、本プロジェクトがスタートして以来帰国済短期専門家の業務報告書を分野別にとりまとめたものであり、今後、プロジェクト運営及び関係者の参考資料として利用されることを願うものである。

最後に、これまで御基力を頂いた専門家各位、御協力を頂いた外務省、農林水産省、インドネシア側関係機関、在インドネシア国大使館に対し、ここに深く謝意を表する。

昭和60年 1 月

国際協力事業団
農業開発協力部長
田 内 堯

業務分野 (Field)	専門家氏名 (Name)	派遣時所属 (Position)	ページ (Page)
モニタリング (Monitoring) 1983. 2. 8~1983.4. 8 1983.10.19~1984.2.15	奥 成 一 (Seiichi Oku)	日本電気株式会社 (NEC)	1 89

目 次

(1983.2~4)

1. 目 的	1
2. 日 程	1
3. 内 容	1
4. Short-term Monitorinf Systemの今後の作業内容	1
5. 今後のシステム開発について	3
I Monitoring Systemについて	11
II システム開発目的	11
III 開発業務サブシステム	12
IV 開発スケジュール	12
V 標準化	13
VI コード化	14
VII Data Flow	18
VIII 使用ファイルについて	19
IX General System Flow	23
X System Flow	27
XI Input Flow	39
XII File Layout	53
XIII Output Layout	85

I 業務の目的

CGSC Project の要請により、Monitoring System のシステム設計を行なう。

II 業務の日程

- 1983年2月8日 東京 JAKARTA (着任)
- 9日 JICA事務所、公共事業省挨拶、CGSC関係者挨拶
- 10日～15日 Monitoring System開発方法及び現状打合せ
- 16日～19日 システム設計手順書作成、ランボンWAY RAREM出張準備
- 21日～25日 WAY RAREMにて現状分析、資料収集
- 26日～3月5日 WAY RAREMの現状分析
- 9日～31日 システム設計
- 4月4日～7日 資料まとめ及び報告会

III 作業内容

1. 現地スタッフへのシステム設計方法の説明
2. Short-term Monitoring Systemの設計
 - 2-1 システム開発の目的 (Target)
 - 2-2 システム概要設計 (Analysis)
 - 2-3 システム詳細設計 (Design)
 - コード設計 (Code design)
 - アウトプット設計 (Output design)
 - インプット設計 (Input design)
 - ファイル設計 (File design)
 - システムフロー設計 (System flow design)

上記の内容迄作業は完了しました。しかし、これで作業は終わったのではなく、引続きシステム開発を行なわなければならない。

今後のシステム開発は、インドネシア人スタッフで行なっていただきたい。作業の中心はプログラムの作成である。プログラムは使用者が作成するのが最良である。なぜならプログラムには変更、修正が必ず発生する。この時、プログラムのメンテナンスを行なうのは、プログラム作成者が行なうのが最も早く、正確に行なえるからです。

IV Short-term Monitoring Systemの今後の作業内容

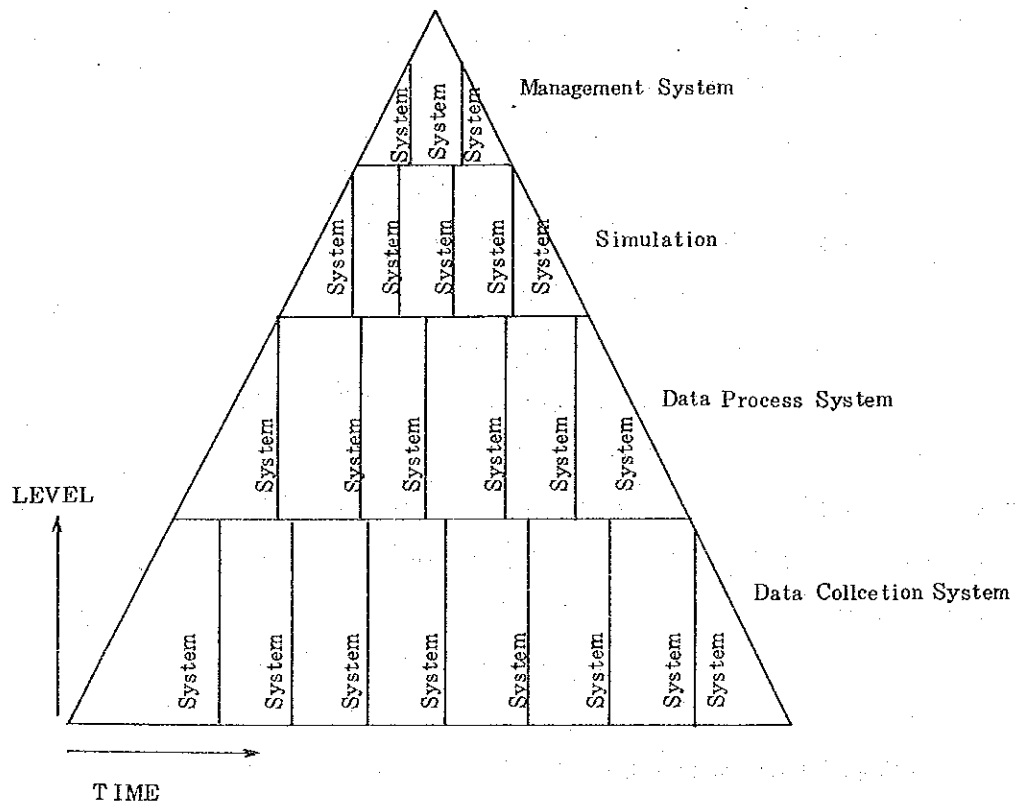
- プログラム仕様書の作成 (Make specification of program)

- General flowchart of program
- Detail flowchart of program
- Operation flowchart
- Make the program (coding)
- Compile and link
- Make JCL
- Make test data
- Disk file allocation
- Program debugging
- Run (run and check)

以上の作業を行なう必要があります。

これらの作業を行なう Engineer level としては、Sub-System engineer と思われる。例として日本での SA 又は、SE になるまでの教育 (OJT) 期間を次頁に付けます。

Monitoring System の開発スケジュール



V 今後のシステム開発について

CGSCにACOS-250 が搬入されて、早くも1年が過ぎるがコンピュータを十分理解しているとは思えない。今後システムを開発していくには、コンピュータ要員の再教育も同時に行なう必要があると思う。

教育内容としては、

Operator 教育

- JCLを理解する事
- メーカー提供のユーティリティ・プログラムを全て使える事。
- OCL (Operation Control Language) 使える事。
- コンソールメッセージを理解し、それに対処出来る事。

Programmer 教育

- 各種の言語が有るが、どれか1つを理解し、いかなるプログラムでも作成出来る事。
- メーカー提供のサービスプログラムを使える事。

System Engineer 教育

- 現場サイドと打合せを行ない現状を分析し、それをコンピュータ化出来る事。

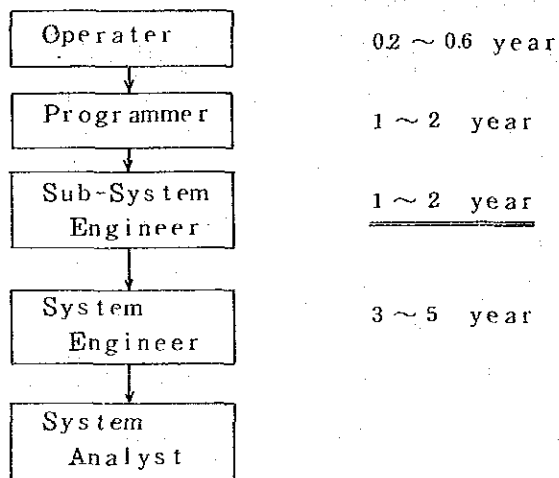
日本での教育例を次頁に記す。

Period of training of SA, SE (On the Job Training)

SA, SEの教育期間(OJT) example in japan

SA Systems Analyst

SE Systems Engineer



システム開発体制

システム開発は、System Engineer のみで行なう事は、不可能です。現場サイドの協力、援助がなければ開発が困難です。しかるに開発時には現場サイドの開発業務に精通している人が作業を行なうのが望ましい。

開発時の作業分担

項目	現場担当	System Analyst	System Engineer	Programmer	Operator
Target	○	△	△		
Analysis	△	○	△		
Design	△	△	○		
Flowchart		△	○		
Coding			△	○	
Debugging	△		△	○	
Run	△			△	○
Evaluation	○	△	△		
Documentation	△	△	○		

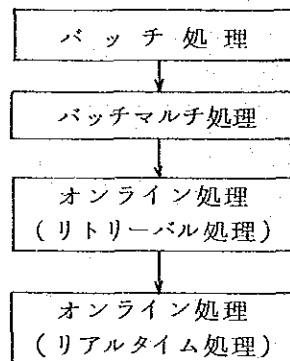
○ … Main

△ … Sub

ハード機器について

CGSCのコンピュータ使用方法は、バッチ、シングル処理を行なっているにすぎない。ACOS-250 は現状でマルチ処理は可能です。ただ稼働さすシステムが無いのが現状です。

今後、多数のシステムを開発していくうえでは、マルチ処理を行なうようになるでしょう。コンピュータ利用を段階的に考えてみると、下図の様になると考えられる。



前項の図を見てもらうと、オンライン処理を当段階で考え、装置の準備が必要です。インドネシアにおける電話回線では、オンライン化出来るとはいえない。しかしこの場合でもインハウス内のオンライン化は可能です。オンライン端末としては、N 6300/50 N 又はワークステーションが考えられます。

端末の利用方法は

- プログラムの作成及び修正
- 端末をコンソールとみなし、各種JOBの実行
- データ入力
- データ検索
- 帳表の出力
- 各種fileの更新

などに使われるでしょう。

オンライン端末の台数は

- コンピュータ室…… 2～3台 システム開発用
- 各部課 …… 1～2台 オンライン処理用

と考えられる。ただし、部課の台数はデータ量により異なります。オンライン端末の増設と共にメモリの増設も必要です。

オンライン処理を行なう時には、オンラインプログラム数本とバッチプログラム数本が同時に稼働する事になり、プログラムをロードするメモリが増大し、バッチ処理時のメモリでは、不足します。

また、データ量も増加するのでディスクの増設も必要です。ディスクの増設は、データ量の増加により決めて下さい。オンライン化を行なうには要員教育も必要です。

教育内容としては

- オンライン・オペレーション
- オンライン端末オペレーション
- オンラインプログラミング
- ディスプレイ画面の設計方法

が有りますので実施して下さい。

システム設計手順書

目的の業務をコンピュータ化するには、下記の各ステップの作業を行なう必要がある。ここに各ステップ名及び、各作業内容を明記する。

1. コンピュータ化の目的の決定
 - 目的の決定
 - 業務の決定
 - 開発スケジュールの決定と開発要員の決定
2. システム概要設計
 - 現状分析

現在行なっている業務を分析し、事務フローの作成を行なう。又、使用中のコード、各ファイルなども目的を把握しておく。
 - 現状分析を元にして、事務の合理化を考える。コンピュータ化した時の事務フローを作成する。この時に、変更になる部課には、十分説明し、理解し、協力してもらうようにする。
 - 各種データの把握

インプットデータ、アウトプットデータの全ての使用目的を理解する。各データの件数をチェックする。

 - 1日当りのMAX及びMIN
 - 月当りのMAX及びMIN

今後のデータの増加率を求めておく。
 - 現在使用中のコードを把握しておく。

使用目的、コード体系
 - 台帳類の種類と使用目的、アップディットサイクル
 - コンピュータ化するシステムのアウトラインの決定、及び、開発順序の決定。
 - インプットデータのまとめ
 - アウトプットデータのまとめ
 - マスターファイルの容量の計算（概算）
 - システムフローの作成
 - 各種ファイルの編成方法の決定
 - コンピュータ化のコード体系の作成
3. 詳細設計
 - ファイルレイアウトの作成
 - ・ インプットデータ入力ホーム
 - ・ アウトプット帳表ホーム
 - ・ 各種ファイルのホーム
 - システム・ディテールフローの作成及び処理概要の明記

- プログラム仕様書の作成
- 4. プログラミング
 - プログラムの作成……リンク迄
- 5. デバッグ
 - テストデータの作成
 - J C L の作成
 - 各種ファイルの作成
 - デバッグ
- 6. 本番準備
 - オペレーションフローの作成
 - マシンスケジュール表及び実績表の作成
 - 各種マスターを本番用に作成する
 - 本番用 J C L の作成
- 7. 本番処理
- 8. メンテナンス

目 次

I	MONITORING SYSTEMについて	11
II	システム開発目的	11
III	開発業務サブシステム	12
IV	開発スケジュール	12
V	標準化	13
VI	コード化	14
VII	DATA FLOW	18
VIII	使用ファイルについて	19
IX	GENERAL SYSTEM FLOW	23
X	SYSTEM FLOW	27
XI	INPUT FORM	39
XII	FILE LAYOUT	53
XIII	OUTPUT LAYOUT	85



はじめに

現在日本においては、全国民がコンピュータの恩恵を受けている。たとえば、新幹線の緑の窓口における乗車券、飛行機の座席予約、銀行のオンラインなど数えれば切りがありません。

しかし、現在の状態になる迄には、20年以上の年月と各種の要因の整備及び発展があつての事です。もちろんコンピュータ機器の能力のアップ、ソフトウェアの向上、それらを使用し、コンピュータ化する要員(SA, SE, PG, OP, CE)の能力向上もいりまでもありません。これらの事があいまって、現在のコンピュータ化が運用されています。

一方、インドネシア国に目を向けると、コンピュータ化の波は徐々に押し寄せて来ています。これからのコンピュータ化に対処するには、環境整備(電気, 通信, etc)と、コンピュータ要員の教育が必要です。

I Monitoring Systemについて

Monitoring Systemを広義に考えると、全システムがMonitoring Systemといえる。今回のシステム開発では、かんがい局内部のMonitoring Systemの一部を開発する。

開発するシステム名は

- Finance System
- Physical System
- Personnel System

の3システムを開発する。

当システム開発のプログラム言語は、FORTRAN又は、COBOLを使用するシステムである。

II システム開発の目的

1. 各現場で発生するデータをコンピュータに蓄積する。
2. 各種レポートを出力出来る様に、データを加工する。
3. システムの拡張が可能なシステムにする。
4. 標準化を行なう。
5. データを年間累積し、年間レポートを出力可能にする。
6. 各種のコード化を行なう。
7. 次期システム開発の参考資料を作る。

II-1 Short-term Monitoring System

1. 目的

- a) 各 Project の予算管理を行なう
予算が有効に利用出来る。
- b) 各 Project の出来高管理を行なう
単年度毎の出来高と、トータルし現時点の出来高を見る事が出来る。
- c) Personnel 管理を行なう
各種必要なデータをコンピュータに入力しておき、必要時に必要な帳表を作成出来る様にする。

III 開発業務

- a) Finance Progress management
- b) Physical Progress management
- c) Personnel management

IV 開発スケジュール

	3月	4月																																						
	1	2	3	4	5	⑥	7	8	9	10	11	12	⑬	14	15	16	17	18	19	⑳	21	22	23	24	25	26	㉑	28	29	30	31	1	2	③	4	5	6	7	8	9
Output design	←————→																																							
Input design							←————→																																	
File design													←————→																											
Design of code																			←————→																					
System flow																									←————→															
blow of data																																					←————→			

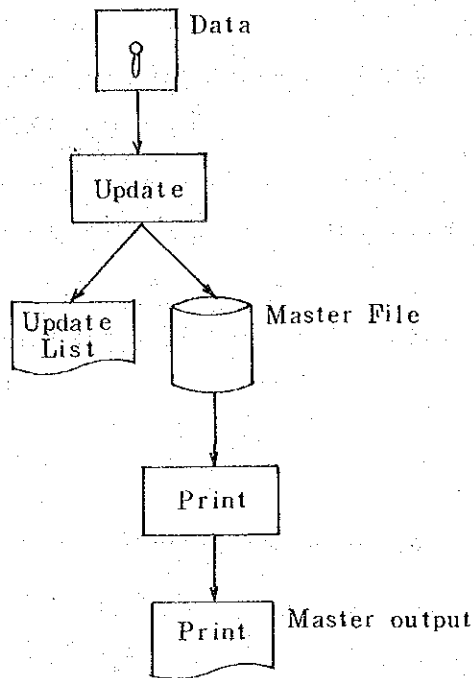
V 標準化

1. システム作成には、まず使用用紙サイズの統一をする。
2. 各開発ステップで使用するホームレイアウトを作成する。
3. システム開発を統一思想で行なう。
4. 開発時に発生する資料を分類し、ファイルしておく。
5. コード作成時には、シーケンスに付けるだけでなくコードをチェックするコードを付けておく事がのぞましい。
6. 開発ステップ毎にチェックポイントを決め、担当マネージャーがチェック後次のステップに進むようなシステムにする。
7. プログラムの標準化を行なう
各種パターンのプログラムが有るが大別すると、4～5種類のパターンに分類されるので、各パターンのプログラムフローを作成し、そのパターンに合せたプログラム仕様書の作成とコーディングをする。
8. 各プログラムで共通で使用する処理があれば、サブルーチンとして最初に作成し、共通で使用する。
9. ディスプレイメッセージの統一をする

[例]

- ◎ 各種用紙には以下の種類が考えられる。
 - 自由形式
 - ファイルレイアウト用紙
 - アウトプットレイアウト
 - ディスクアロケートレイアウト用紙
 - フローチャート用紙
 - プログラム仕様書
 - オペレーション用紙
 - コーディング用紙
- ◎ コードのチェック方法としては下記の方法が考えられる。
 - モジュール10
 - モジュール11

マスタ・作成基本パターン(バッチ処理)



- 追加 (addition)
- 修正 (amendment)
- 取消 (delete)

V コード化

各種システムをコンピュータ化するには、コード化という事が必然的に出て来る。というのも同じ内容を各種の File に持たす事は不経済だし、又、入力するのに手間が掛かる。現在インドネシア灌漑局においても、各種のコード化はされている。

今回の3システムでは、現在使われているコードは、そのまま使い、無いコードについてのみコード化する事にする。

SEX Code

1 : Male

2 : Female

AGAMA Code

01 : Islam

02 : Budha

03 : Katolik

04 :

05 :

06 :

Kawin/Selum Code

k : Kavin

TK : Tidak Kavin

J :

D :

Pangkat/Gol Code

01 : I - A

02 : I - B

03 : I - C

04 : I - D

05 : II - A

06 : II - B

07 : II - C

08 : II - D

09 : III - A

10 : III - B

11 : III - C

12 : III - D

13 : IV - A

14 : IV - B

15 : IV - C

16 : IV - D

17 : IV - E

Master Update Code

0 : Delete

1 : Addition

2 : Amendment

TABLE OF DONOR CODES

<u>Code</u>	<u>Name of Donor</u>
01	World Bank (IBRD)
02	Asian Development Bank (ADB)
03	International Development Association (IDA)
04	Japan (OECD)
05	Netherlands
06	Great Britain (ODM)
07	Canada (CIDA)
08	West Germany (KFW)
09	France
10	United States Agency for International Development (USAID)
11	United Nations Development Program (UNDP)
12	Australia

TABLE OF PROGRAM CODES

<u>Code</u>	<u>Program</u>
01	Program Perbaikan dan Peningkatan Irigasi
02	Program Pembangunan Jaringan Irigasi Baru
03	Program Pengembangan Daerah Rawa
04	Program Pendidikan dan Latihan Pengairan
05	Program Penelitian Pertanian dan Pengairan
06	Program Penyempurnaan Efisiensi Aparatus Pemerintah and Pengawasan
07	Program Penyempurnaan Prasarana Fisik Pemerintah
08	Program Penyelamatan Hutan Tanah dan Air
09	Program Pembinaan Sumber Alam dan Lingkungan Hidup

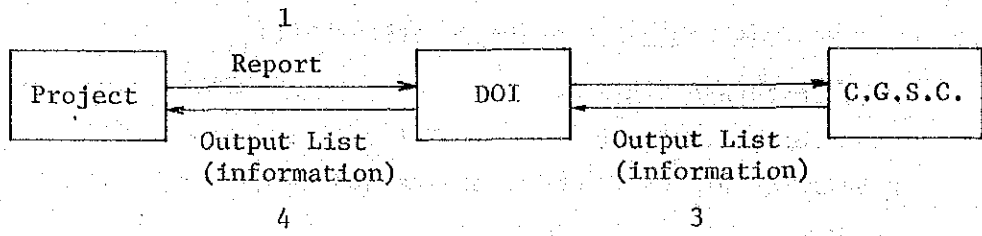
TABLE OF DOI UNIT CODES

<u>Code</u>	<u>Unit Within Directorate of Irrigation</u>
01	Subdirectorato Binlak I
02	Subdirectorato Binlak II
03	Subdirectorato of Planning and Design
04	Subdirectorato of Renabilitation
05	Subdirectorato of Operation and Maintenance

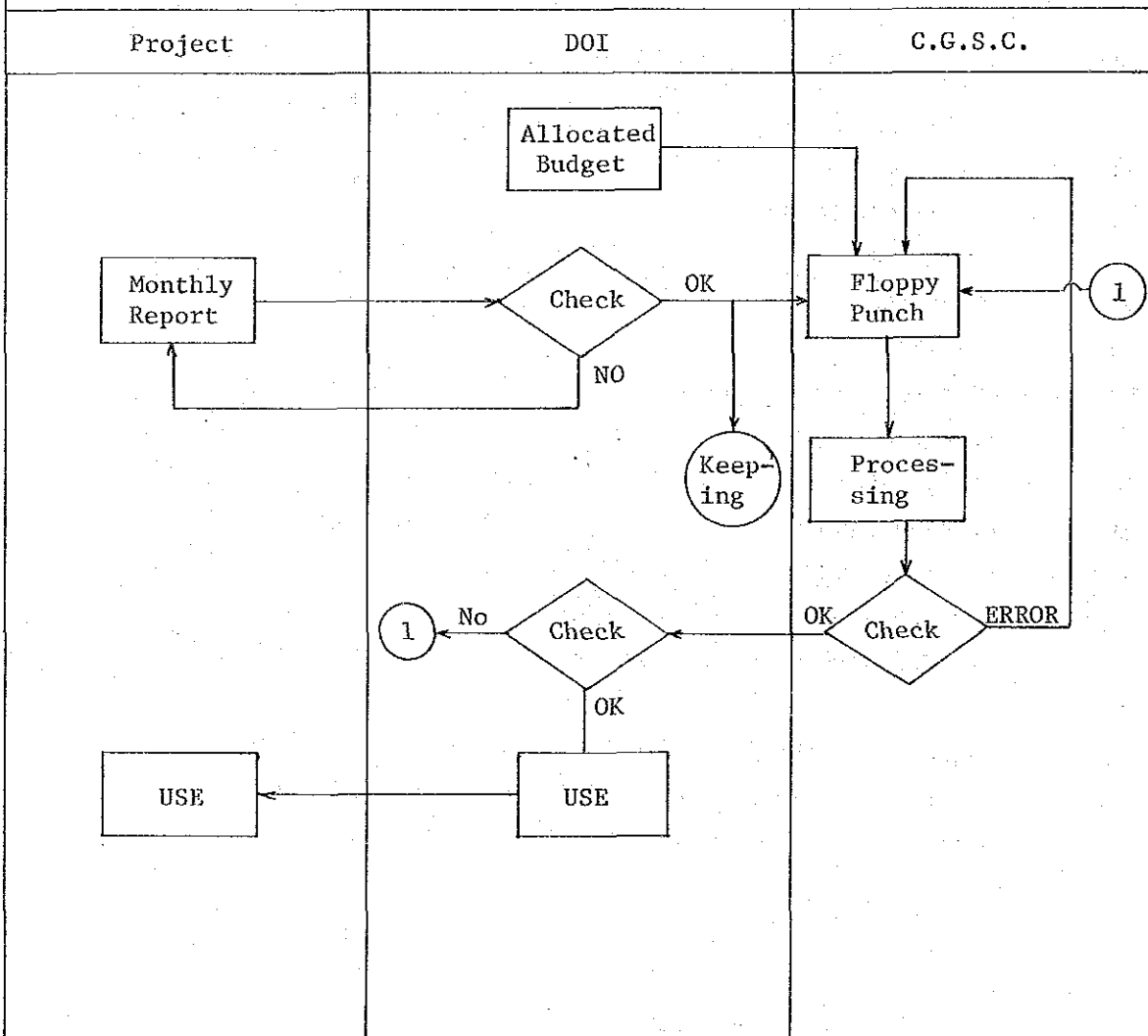
TABLE OF DEPARTMENT CODES

<u>Code</u>	<u>Name of Department</u>
01	Dalam Negeri
02	Luar Negeri
03	Pertahanan Keamanan
04	Kehakiman
05	Penerangan
06	Keuangan
07	Perdagangan dan Koperasi
08	Pertanian
09	Perindustrian
10	Pertambangan
11	Pekerjaan Umum
12	Perhubungan
13	Pendidikan dan Kebudayaan
14	Kesehatan
15	Agama
16	Tenaga Kerja dan Trasmigrasi
17	Sosial

VII. Data flow



Data Process



フィルム一覧表

Ⅷ 使用フィルムについて

No.	Abbreviation Name	Name	Used System		
			Finance	Physical	Personnel
1	MF	Management file of each direct file	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
2	FTM	Finance table master	<input type="radio"/>		
3	FM	Finance master	<input type="radio"/>		
4	ND	Name of donor file	<input type="radio"/>		
5	DF	Department file	<input type="radio"/>		
6	DOI	DOI unit file	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
7	PF	Program file	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
8	PTM	Physical table master		<input type="radio"/>	
9	PM	Physical master		<input type="radio"/>	
10	PE	Personnel master			<input type="radio"/>

Finance Table Master 利用方法

当ファイルにおいて、Finance Master File のアドレスをMain Sub Project
№毎に管理する。(max30)

当ファイルはダイレクトFileとし、州コードをレコードアドレスとする。

州 №	Name
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	

Management file of each direct file address

当ファイルは、Direct fileの使用状況を各ファイル毎に管理する。

当ファイルのアドレスとファイルの関係は

Address key	file name
1	Management file of each direct file address
2	Finance Master
3	Name of Donor file
4	Department file
5	DOI Unit file
6	Program file
7	Physical Master
8	Physical Table Master
9	Finance Table Master
10	
11	
12	
13	
14	
15	

内容は

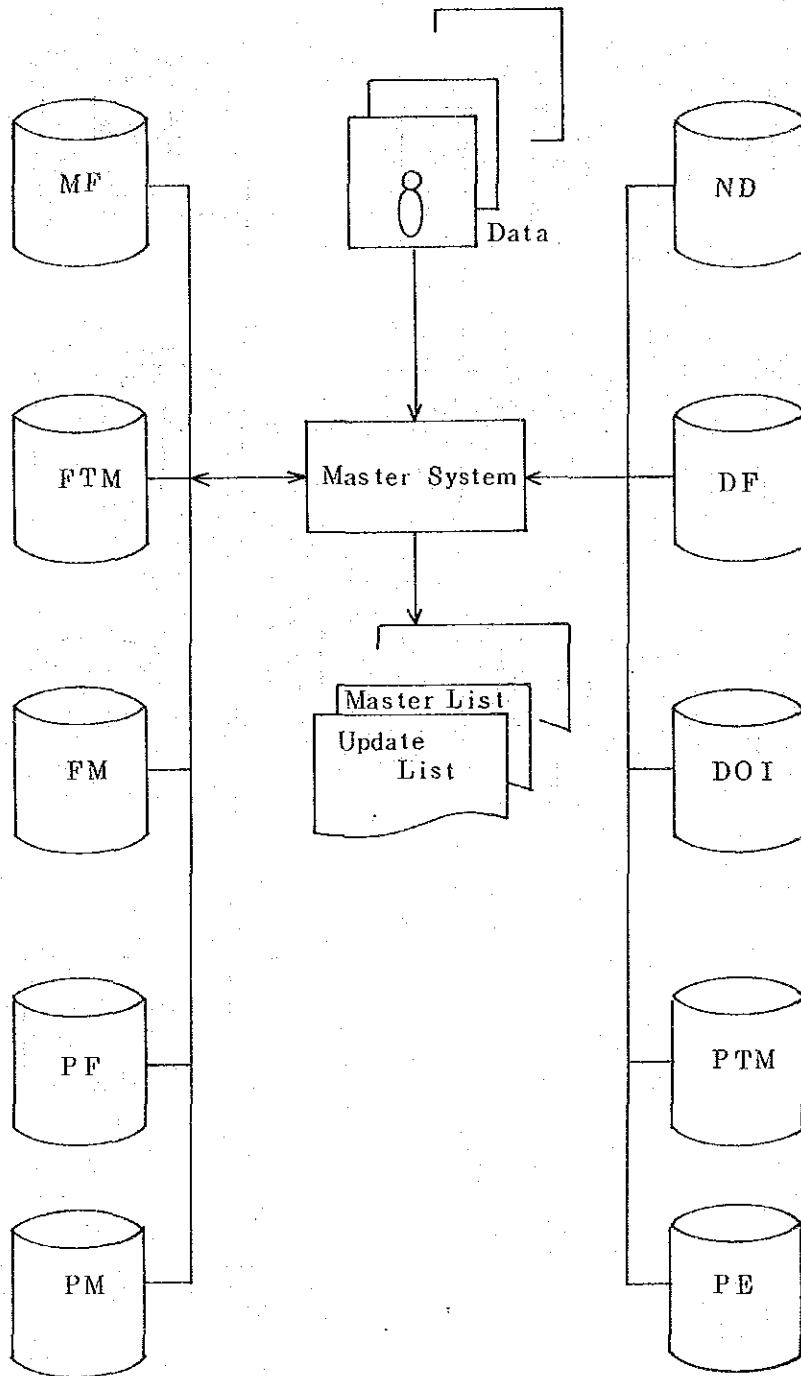
1. アドレスコード ……………自身のアドレスと同一
2. First address ……………管理するファイルの最初書き込んでいるアドレスを持つ。(通常“1”とする。)
3. End address ……………管理するファイルの最初書き込んだアドレス+“1”を持つ。
追加する時は当アドレス番地に書込めばよい。
4. file name ……………管理されるファイル名を記す。

ファイルアロケート一覧表

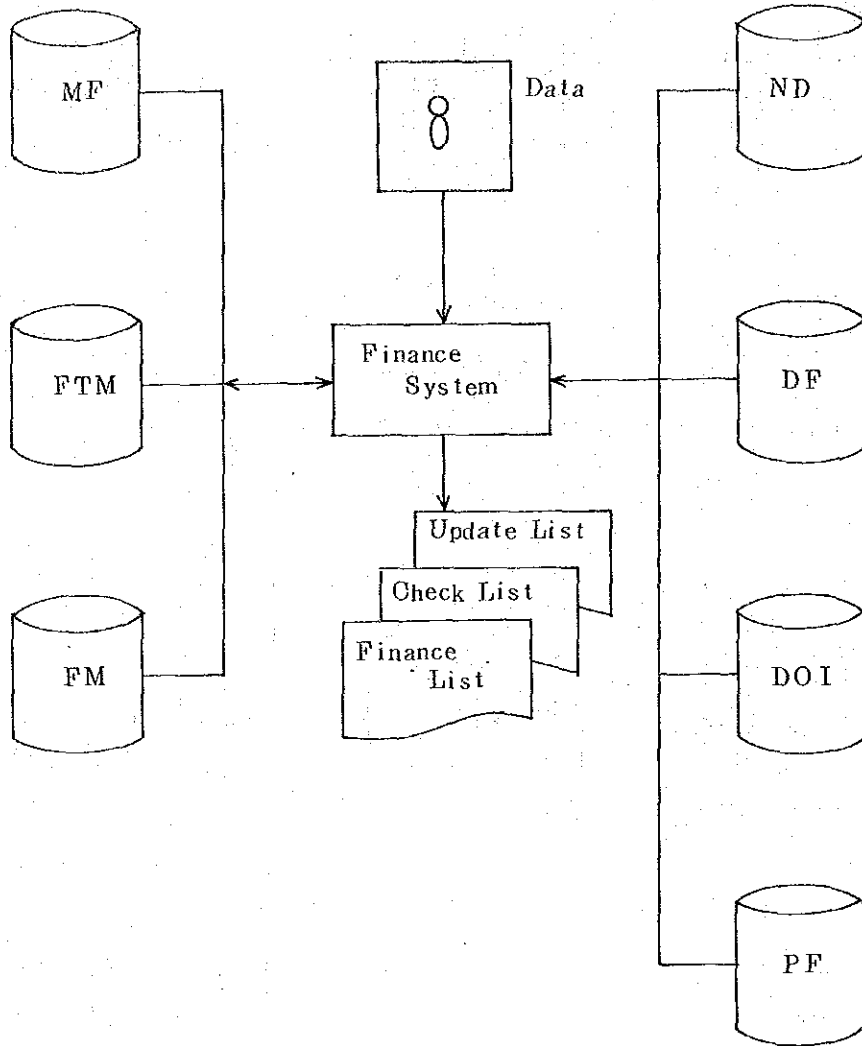
No.	File Name	Media Name	RSZ	BSZ	Size	File Org	Key	Remark
1	Finance table master		400	400		DIR		
2	FTM data		80	80		SEQ		FDD
3	Management file of each direct file address		100	100		DIR		
4	MF data		80	80		SEQ		FDD
5	Finance master		1740	1740		DIR		
6	Finance master update data		80	80		SEQ		FDD
7	Finance monthly data file		82	82		SEQ		FDD
8	Program file		100	100		DIR		
9	Program data		80	80		SEQ		FDD
10	DOI unit file		100	100		DIR		
11	DOI unit data		80	80		SEQ		FDD
12	Department file		100	100		DIR		
13	Department file data		80	80		SEQ		FDD
14	Name of donor file		100	100		DIR		
15	Name of donor data		80	80		SEQ		FDD
16	Physical master		570	570		DIR		
17	Physical master data		80	80		SEQ		FDD
18	Physical monthly data		80	80		SEQ		FDD
19	Physical table master		400	400		DIR		
20	Physical table master		80	80		SEQ		FDD
21	Personnel master		500	500		SEQ		DISK
22	Personnel master data		80	80		SEQ		FDD

X GENERAL SYSTEM FLOW

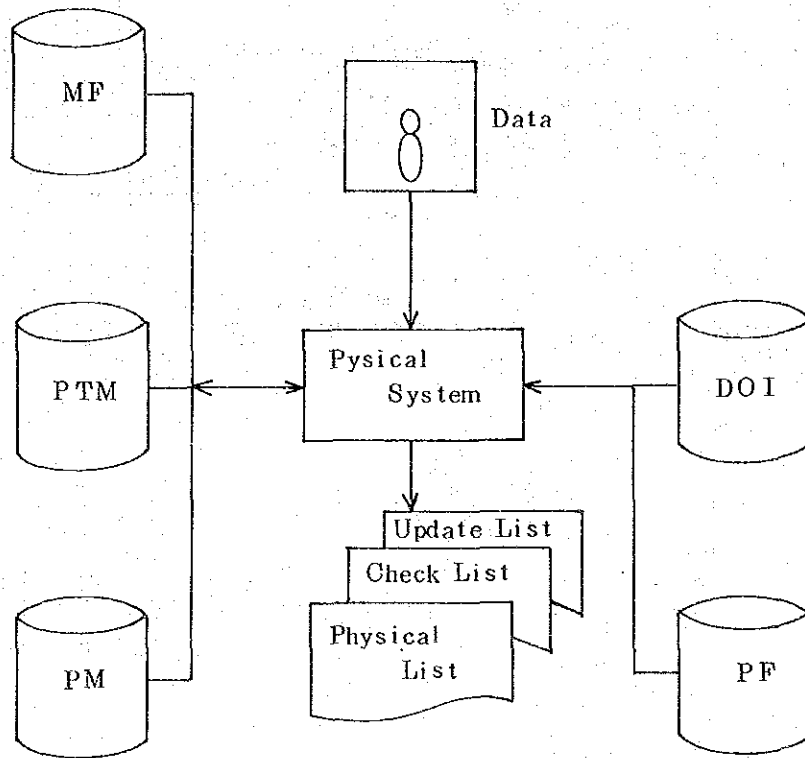
1. Make Masterfile

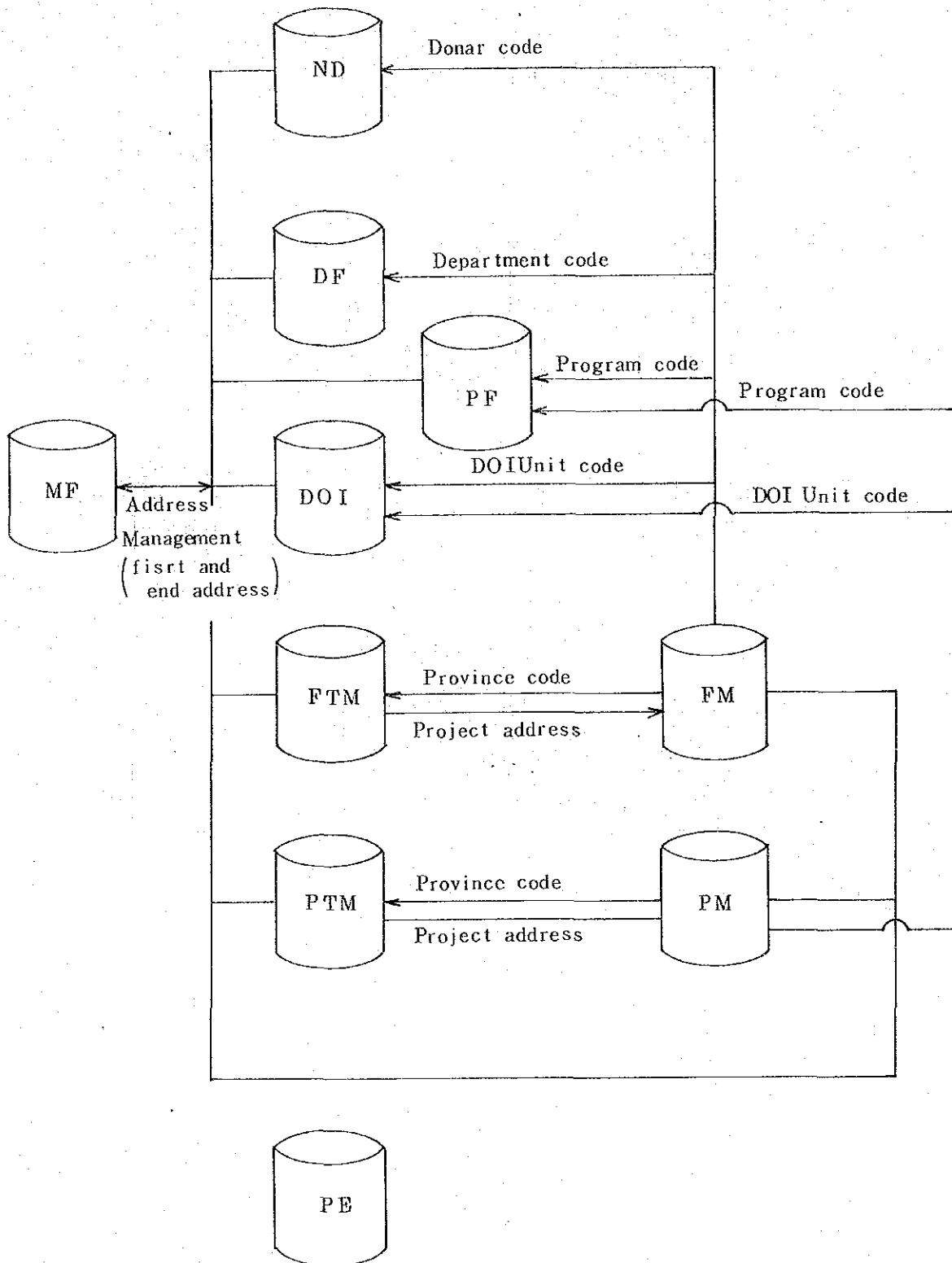


2. Finance System



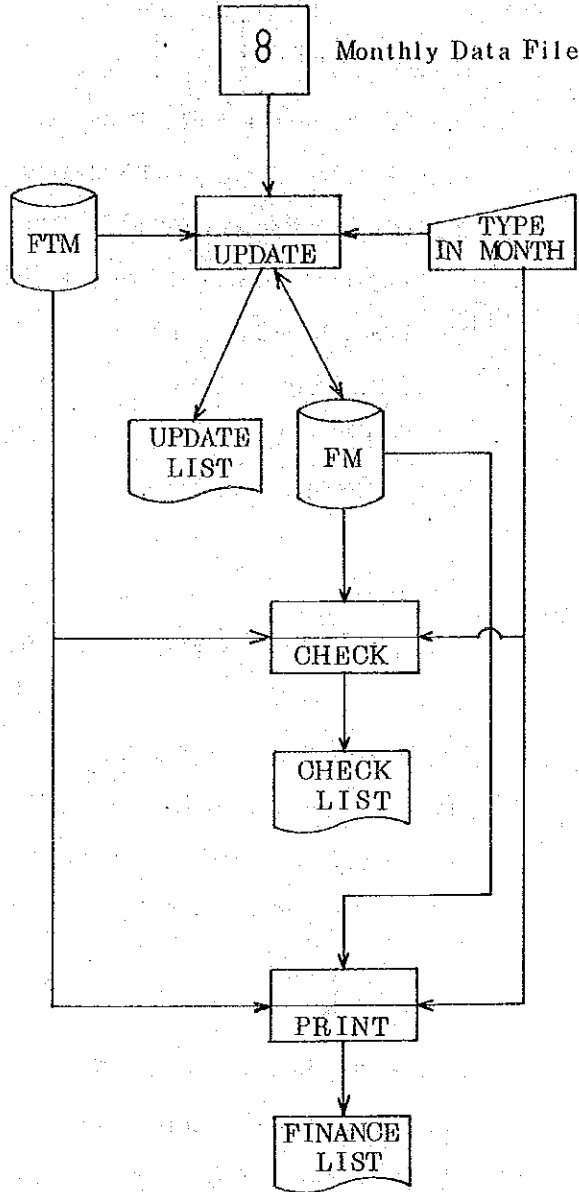
3. Physical System





X SYSTEM FLOW

1. Finance Processing



UPDATE

Monthly Data file を読み、Province code をアドレスとしてFTM file を読む。Monthly Data file の Project code と FTM file の Project を比較し、同一のが有れば、Finance Master Address をアドレスとして、FM file を読む。TYPE IN 月の FM file のエリアを Monthly Data file でリプレイスする。

Update List は、更新及びエラーを出力する。

CHECK

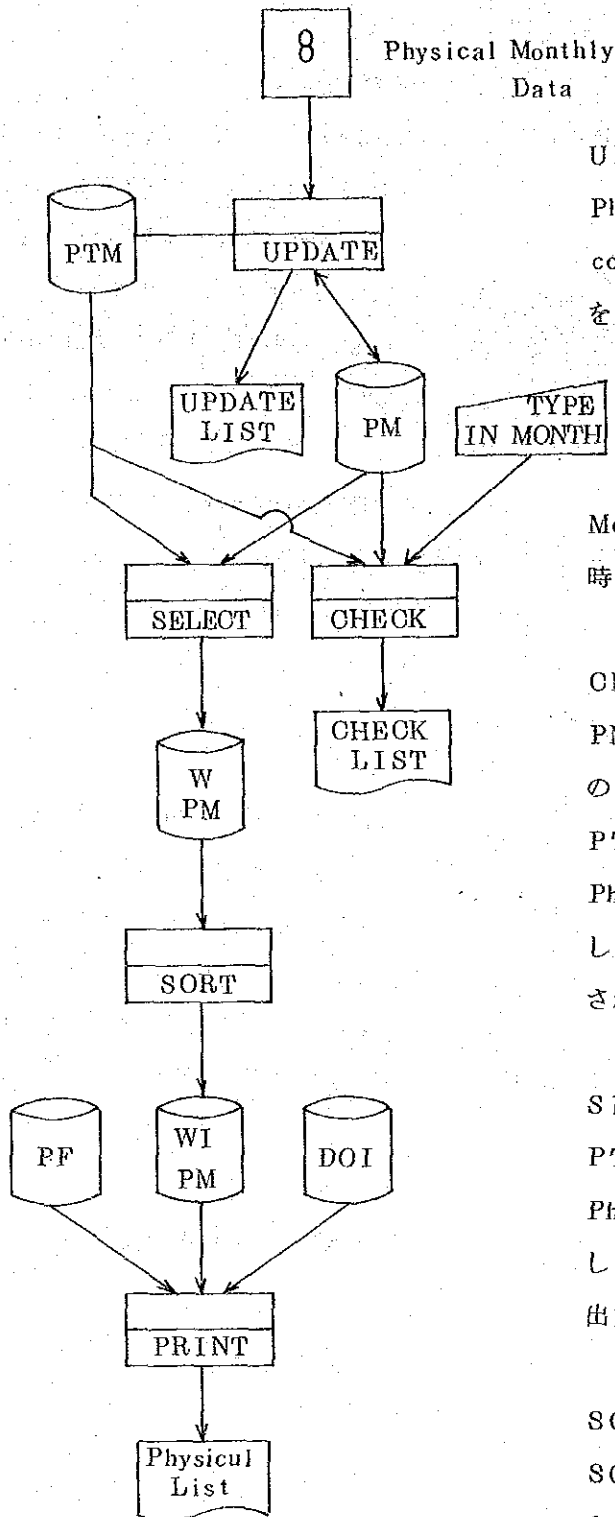
FM file の全件が更新されたかどうかのチェックを行なう。

FTM file を順次読み、Finance Master Address をKEYとして、FM file を読む。チェック月はTYPE IN 月を行なう。

PRINT

FINANCE LIST を出力する。

2. Physical Processing



UPDATE

Physical Monthly を読み Province code をアドレスとして、PTM file を読む。同一 Project No をサーチし、Physical Master Address を求め、PM file を読む。PM file の更新は、Physical Monthly Data の Month と同一の月欄を更新する。更新時 Update List を出力する。

CHECK

PM file の全件が更新されたかどうかのチェックを行なう。
PTM file を 1～27 迄順次読み、Physical Master Address を KEY とし、PM file を読み、TYPE IN された月欄をチェックする。

SELECT

PTM file を 1～27 迄順次読み、Physical Master Address を KEY とし、PM file を読み、全件 W PM に出力する。

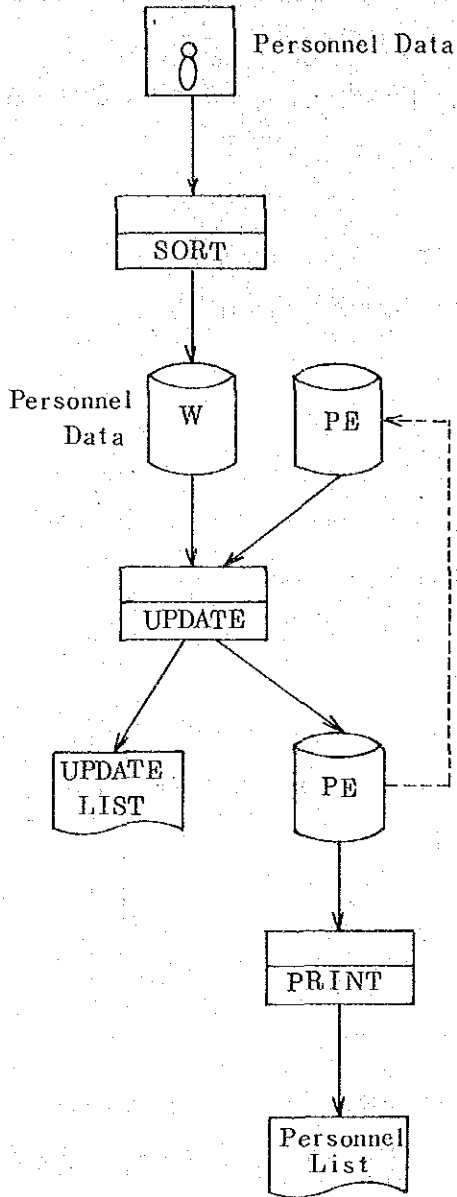
SORT

SORT KEY = Project No, Year Code

PRINT

WI PM の内容を入力する。

3. Personnel Master



SORT

SORT KEY

1. code
2. NIP code

UPDATE

PE file の取消し, 修正, 追加の処理を行なう。

PE file は Sequential である。Update Key は, NIP code で行なう。追加時の Data は, 3 種類で 1 件分の PE Data を作成する。修正時は, Item Update Code により各 Item を修正する。

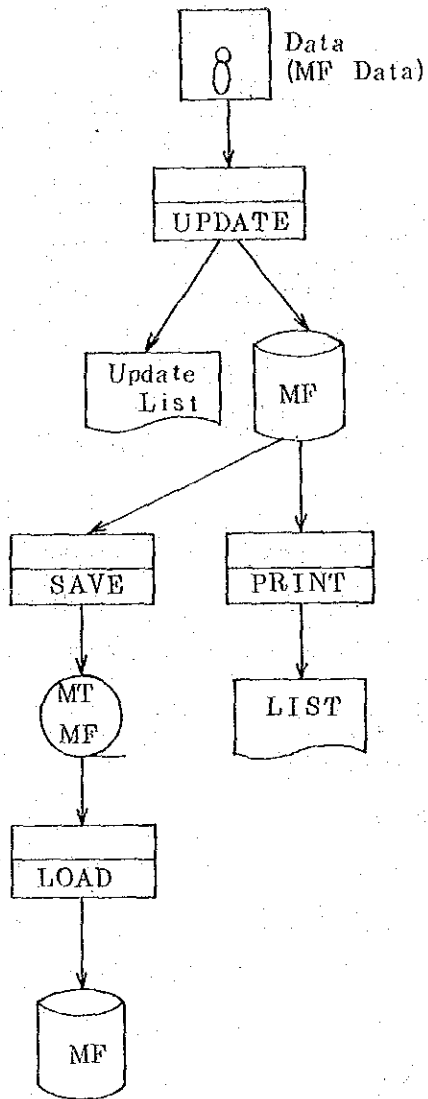
取消し時

対象となるデータを PE file より, Delete する。各処理時には, 必ず Update List を出力する。

PRINT

PE file の内容を出力する。

1. Management file of each direct file address



UPDATE
MF DATA により MF file の追加及び取消しを行なう。
この時、同時にチェックリストも出力する。

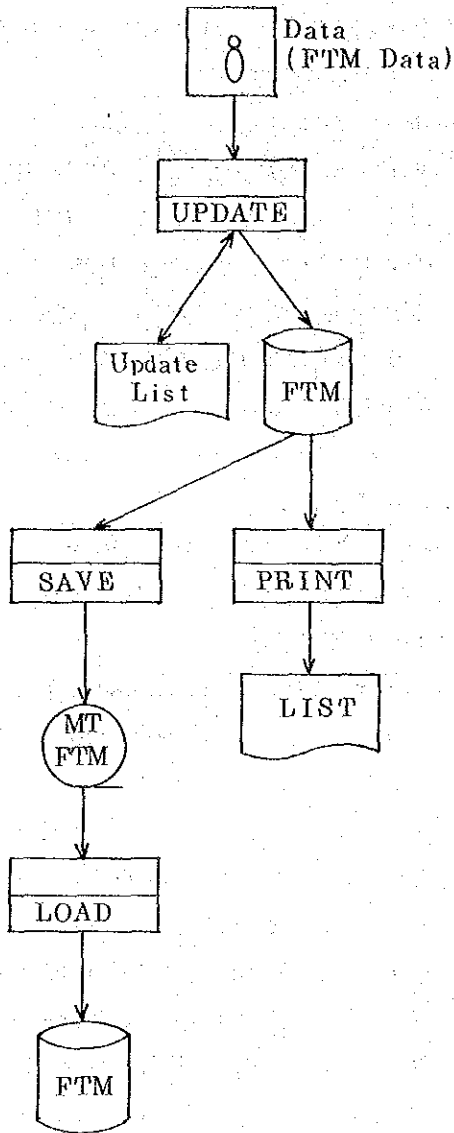
PRINT
MF file の内容をプリントする。

SAVE
MF file の内容を同一レイアウトで MT MF file へ出力する。

LOAD
MT MF file を読み MF file へ内容を copy する。

*** MF file は、Direct file である。当ファイルの管理は、当ファイルの第 1 レコードで管理している。よって、当ファイルの最初は First address より順々に「1」ずつ加算して読み、終了は、「End address - 1」で終了する。

2. Finance Table Master



UPDATE

FTM Data の code により，追加，取消しを行なう。

Province code をKEYにして，Direct file FTMに読書する。

又 update list をプリンターに出力する。

PRINT

FTM file の内容をプリントする。

SAVE

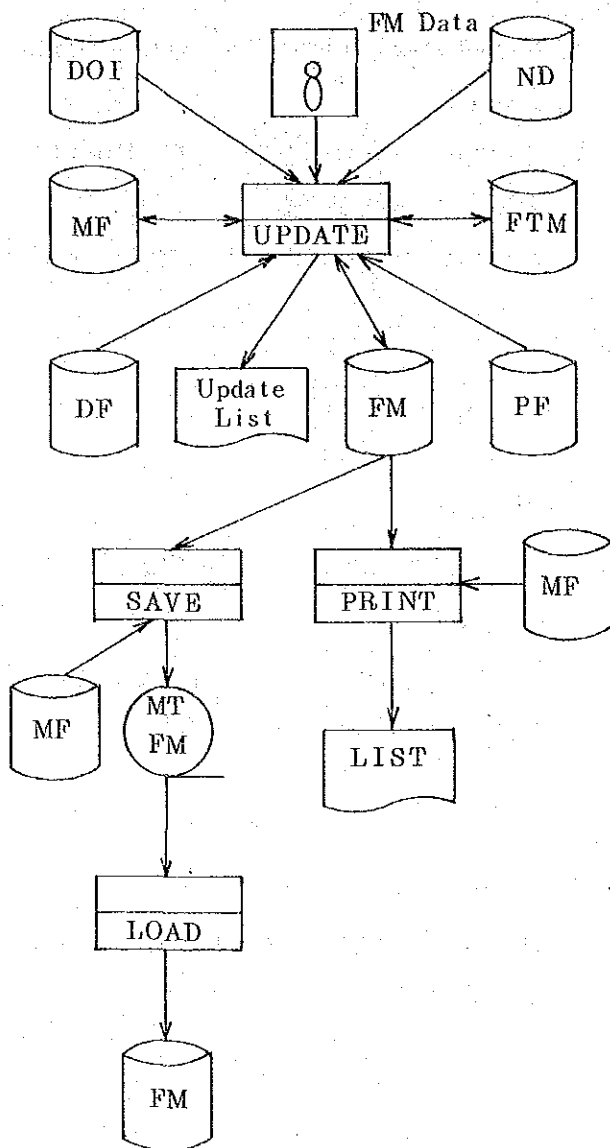
FTM file の内容を同一レイアウトでMT FTM file に出力する。

LOAD

MT FTM file を読み FTM file に内容を copy する。

*** FTM file は 27 件の Province を入力する。

3. Finance Master



PRINT

FM file の内容をプリントする。この時、FM file の終了はMF file のアドレス "2" の end address "-1" の所である。

SAVE

FM file の内容をMT FMに copy する。終了は、FM file でチェックする。

LOAD

MT FM file の finance address により書込む。

UPDATE

FM Data により、FM file の更新を行なう。
チェック及び更新方法

code = "0" (Delete) の時

Province code により、FTM file を読み、Project code により FM file のアドレスを求める。この時、対応する Project 欄を ZERO クリアする。FM file のアドレスによりファイルを読み対応するレコードを Delete する。この時、レコードホームを Update List へ出力する。

code = "1" (Addition) の時

13 件のデータを読み 1 件の FM レコードを作成する。

Donor code, Program code, DOI Unit code, Department code を各 Master によりチェックする。

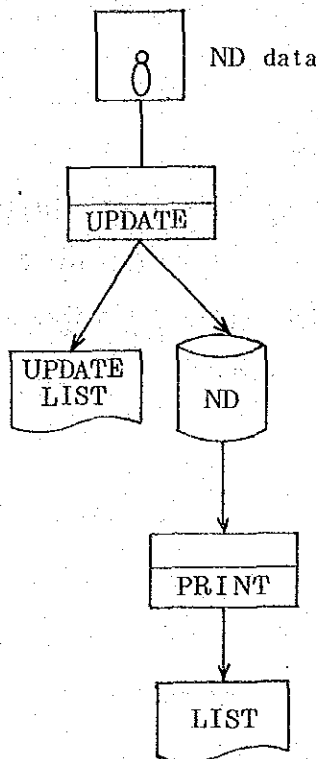
MF file のアドレス "2" を読み end address を FM file のアドレスとして FM file へ書き込む。この時 MF file の end address を "+1" して Rewrite する。FM file へ書込んだ address 及び Project code を FTM file へ書き込む。この時、テーブル使用個数欄に "+1" しておく。

code = "2" (Amendment) の時

Province code により FTM file を読み、Project code により、FM file のアドレスを求める。求めたアドレスで FM file を読み、Item update code により対応する。

Update List は、必ず出力する。

4. Name of Donor file



UPDATE

ND Dataを読み、Donor codeをアドレスとして、ND fileに書込む。

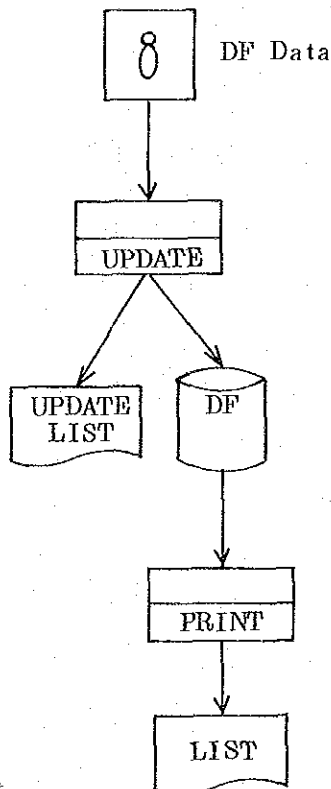
当処理は、追加、修理しか行なわない。追加時にUpdate Listを出力する。

PRINT

ND fileの内容を出力する。

*** 当ND fileのメンテナンスは、Floppy diskを保存する事によって行なう。

5. Department file



UPDATE

DF dataを読み、Department codeをアドレスとして、DFに書き込む。

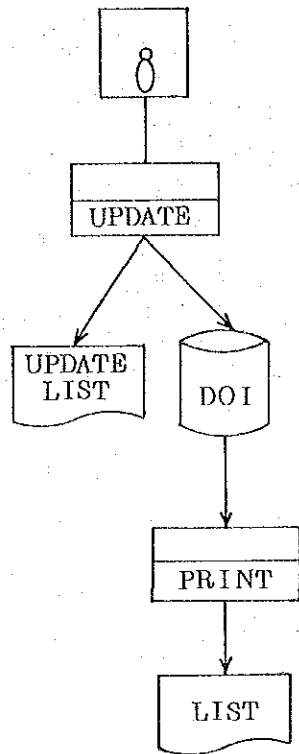
当処理は、追加処理しか行なわない。追加時には、Update Listを出力する。

PRINT

DFの内容を出力する。

*** 当DFのメンテナンスは、Floppy diskを保存する事により行なう。

6. DOI Unit file



UPDATE

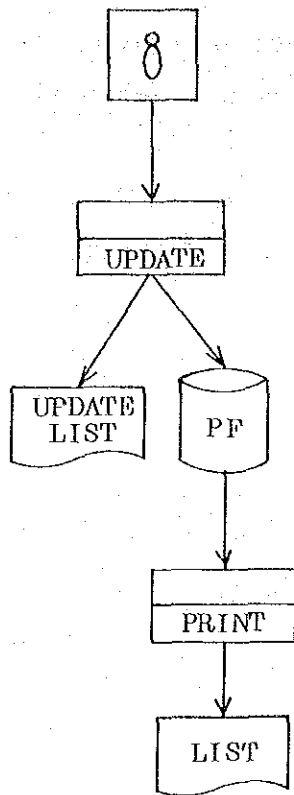
DOI Unit data を読み, DOI Unit code をアドレスとして DOI file に書き込む。当処理は, 追加処理しか行なわない。追加時には, Update List を出力する。

PRINT

DOI file の内容を出力する。

*** 当 DOI file のメンテナンスは, Flopy disk を保存する事により行なり。

7. Program file



UPDATE

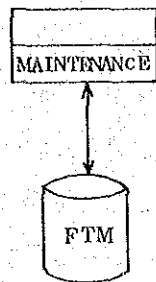
Program data を読み, Program code をアドレスとして, PF に書き込む。

当処理は, 追加処理しか行なわない。追加時には, Update List を出力する。

PRINT

PF の内容 を出力する。

8. Finance Table Master Maintenance

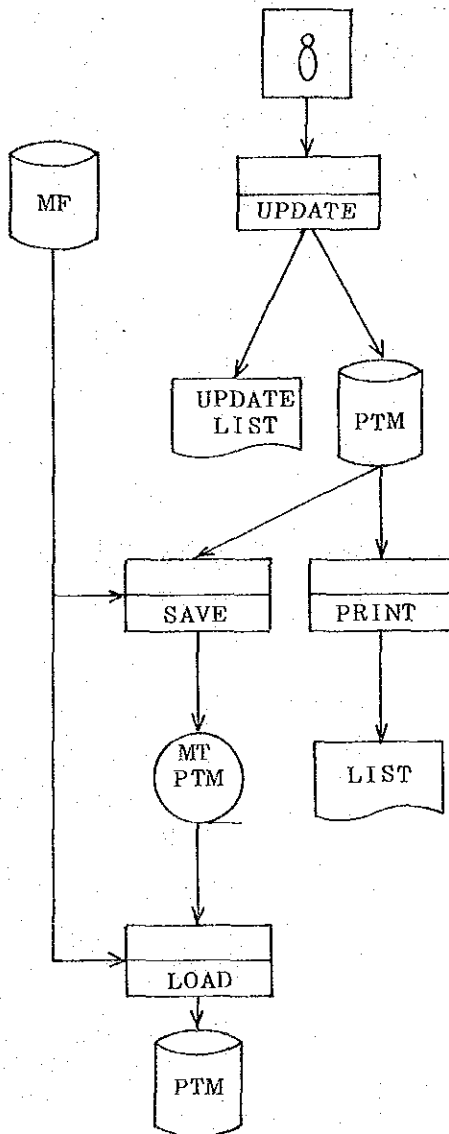


MAINTENANCE

Finance Table Address の Project No が ZERO のものについては、後にある Project を前につめる。

Project No が ZERO 以外のデータをカウントし、テーブル使用個数に入れる。

9. Physical Table Master



UPDATE

Physical Table Master Data により、追加、取消しを行なう。

この時、同時にチェックリストも出力する。

PRINT

PTM file の内容出力する。

SAVE

PTM file の内容を同一レイアウトを MT PTM へ出力する。

LOAD

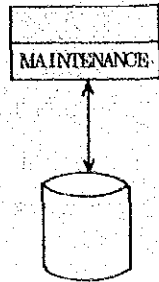
MT PTM file を読み PTM file へ copy する。

この時、出力件数と MF file の (count)

$END\ Address = Count - 1$

以外の時、Display へ END Address と count を出力する。

10. Physical Table Master Maintenance



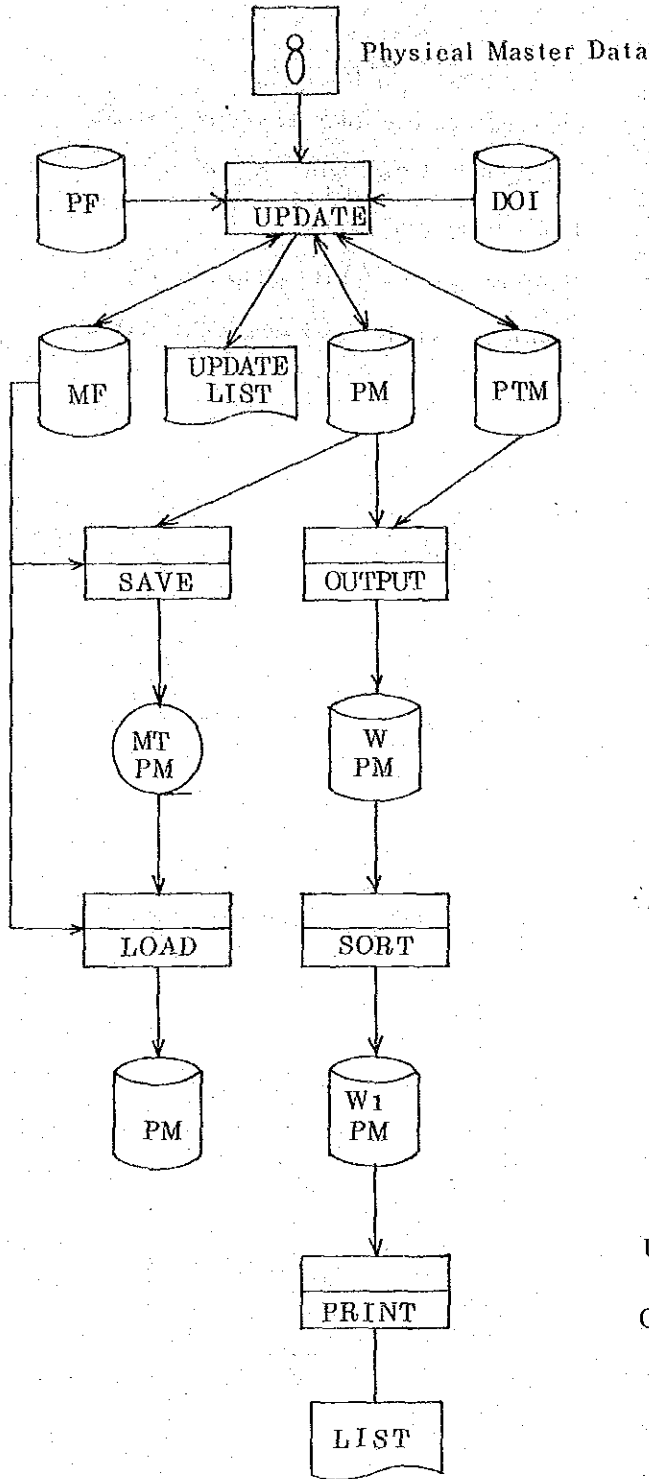
MAINTENANCE

Physical Table Address の Project No
が ZERO のものについては、後に有る。

Project を前につめる。

Project No が ZERO 以外のデータを
count し、table used number に入れる。

11. Physical Master



UPDATE

Physical Master Data により PM file を更新。

チェック及び更新方法

Code = "0" (Delete) の時

Province code により PTM file を読み、Project No により PM file のアドレスを求める。この時、対応する Project No を ZERO クリアする。上記で求めたアドレスにより PM file を読み、対応するレコードを delete する。

Code = "1" (Addition) の時

6 件のデータを読み、1 件の PM レコードを作成する。Program code, DOI code を各 Master によりチェックする。

MF file のアドレス "7" を読み、end address を PM file のアドレスとし、PM file に書き込む。この時、MF file の end address を "+1" して、Rewrite する。PM file に書込んだアドレス及び Project No を PTM file に書き込む。この時、Table Used Number に "+1" しておく。

Code = "2" (Amendment) の時

Province code により、PTM file を読み、Project code により、PM file のアドレスを求める。求めたアドレスで PM file を読み Item update code により対応する Item を更新する。

Update List は、必ず出力する。

OUTPUT

PTM file を 1~27 迄読み、テーブルに持っている Project を全て PM file より読み、W PM に出力する。

SORT

KEY PROJECT NO, YEAR CODE

PRINT

WI PM file の内容出力する。

SAVE

FM file のアドレス " 7 " を読み、First address より End address " -1 "迄のアドレスで、PM file を順番に読み、MT PM file に出力する。

LOAD

MT PM file を順番に読み、Address code をアドレスにし、PM file に copy する。

MF file の End address と PM file に最後に書込んだアドレスが PM file の最後のアドレス + 1 = End address がチェックする。

*** MT PM は、MT としレイアウトは、PM file と同一

W PM ; WI PM は Temporal file とし、レイアウトは、PM file と同一

V INPUT FORM

MF Data form

当ファイルのインプット形式には、2種類有ります。

1. Delete form (code = " 0 ")

Code

Address Key

2. Addition form (code = " 1 ")

Code

Address Key

First address

End address

File name

FTM Data form

当ファイルのインプット形式には、2種類有ります。

1. Delete form (code = "0")

Code

Province code

2. Addition form (code = "1")

Code

Province code

Name of Province

Name of Donor Data

当ファイルのインプット形式は、1種類です。

1. Addition form

Donor code

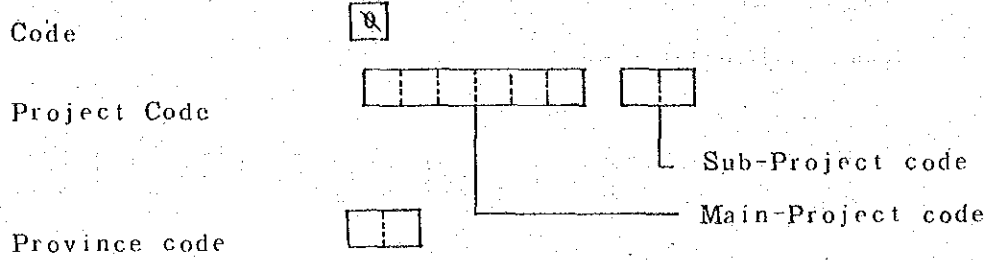
Name of Donor

Affreviation
Name of Donor

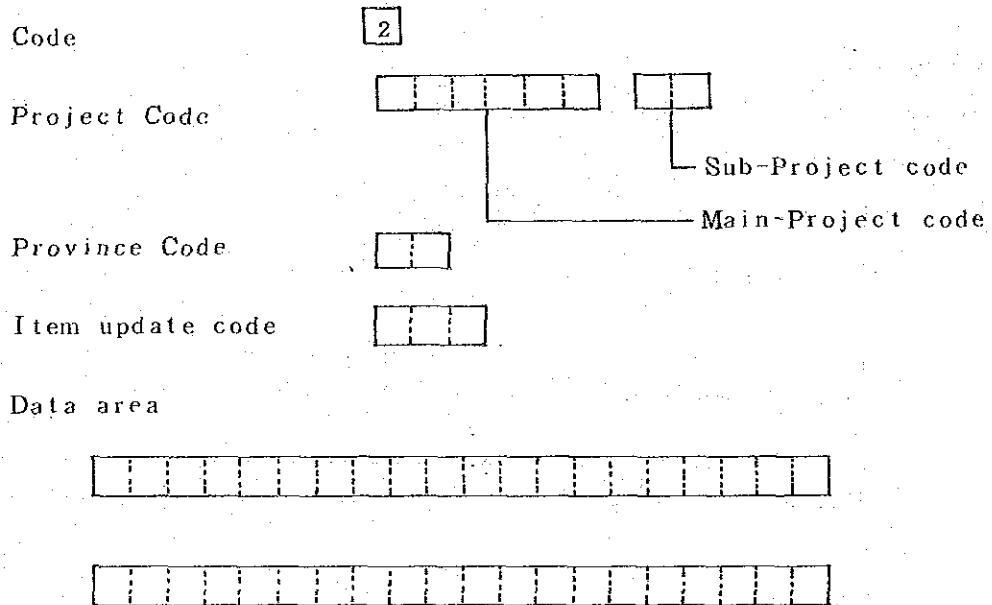
Finance Master maintenance data form

当ファイルのインプット形式には、3種類有ります。

1. Delete form (code = "0")



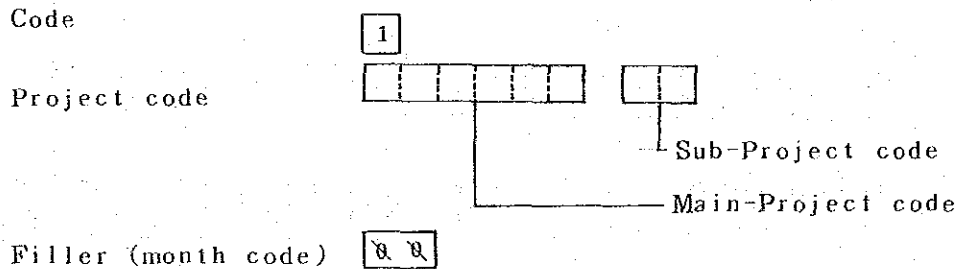
2. Amendment form (code = "2")



3. Addition form (code = "1")

Addition form は 2 種類有ります。

3-1 First form



Province code

Main or Sub Project name

Donor code

Program code

DOI Unit code

Department code

3 - 2 Second form

Code

Project code
Sub Project code
Main Project code

Month code (04 ~ 03)

GAJI UPAH (01) (Budget × 1000)

TANAH "

BAHAN "

PERALATAN MESIN "

PERJ DINAS "

KONSTRUKSI "

LAIN PENGEL "

JUMLAH "

4. 当データの記入方法

4-1 Code

"0" Delete

"1" Addition

"2" Amendment

以外はエラーとする

Code "0", "2" は, 1種類の形式であるが, Code "1" は, 2種類の形式がある。各形式は, ファイルレイアウトを参照ください。

Code "1" については, データの入力手順を下記の様に行なう。

(1)

1	470730	01	00	17	WAY RAREM-WAY
---	--------	----	----	----	---------------

(2)

1	470730	01	04	011000	000200	003000
---	--------	----	----	--------	--------	--------

(3)

1	470730	01	05			
---	--------	----	----	--	--	--

06
07
08
/
12
01
02

(4)

1	470730	01	03			
---	--------	----	----	--	--	--

* (13 データで1件分のマスターを作成する)

Data input form

1. Monthly Data (Finance data)

Project Code

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

Sub Project code

Main Project code

GAJI UPAH (01)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

TANAH (02)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

BAHAH (03)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

PERALATAN MESIN (04)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

PERJ DINAS	(5)	<input type="text"/>
KONSTRUKSI	(6)	<input type="text"/>
LAIN PENGEL	(7)	<input type="text"/>
JUMLAH		<input type="text"/>
Province Code		<input type="text"/>

Physical Monthly Data form

当ファイルのインプット形式は、1種類です。

1. Monthly Data (Physical Monthly Data)

Project No	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
Contract Code	<input type="text"/>		Sub Project code
Year Code	<input type="text"/>		Main Project code
Month	<input type="text"/>		
Physical Progress Data(%)	<input type="text"/>		9(3)V99
Finance Progress Data (RP1000)	<input type="text"/>		
Prouince Code	<input type="text"/>		

Physical Master Data

当ファイルのインプット形式には、3種類有ります。

1. Delete form (code = "0")

Code	<input type="text"/>		
Project No	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
Contract Code	<input type="text"/>		Sub Project code
Year Code	<input type="text"/>		Main Project code

Prouince Code

2. Addition form (Code = "1")

Addition form は 6 種類有ります。

2-1 First form (Seq-№=1)

Code

Project №

Sub Project code

Contract code

Main Project code

Year code

Province code

Seq-№

From

To

Date

Physical Data (%)
Allocation for this year

9(3)V 99

Up to last year

9(3)V 99

Schedule Month

4	5	6	7	8	9
<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
10	11	12	1	2	3
<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>

2-2 Second form (Seq-№=2)

Code

Project №

Sub Project code

Contract code

Main Project code

Year code

Prouince code

Seq - No 2

Finance Data (in Rp1000)

Allocation for this year

Up to last year

Kind of currency ex"RP" or "\$" or "¥" etc

Schedule Month

4	5	6
		
7	8	9
		

2 - 3 Third form (Seq - No = 3)

Code 1

Project No
└ Sub Project code
└ Main Project code

Contract code

Year code

Province code

Seq - No 3

Finance Data (RP1000)

Schedule Month

10	11	12
		
1	2	3
		

2 - 4 Fourth form (Seq - No = 4)

Code

Project No.
Sub Project code
Main Project code

Contract code

Year code

Province code

Seq No.

Contract Number

Contract Amount

2 - 5 Fifth form (Seq - No = 5)

Code

Project No.
Sub Project code
Main Project code

Contract code

Year code

Province code

Seq - No.

Contract Discription

Data

Physical Table Master form

当ファイルのインプット形式は、2種類です

1. Addition form (code = " 1 ")

Code

1

Province code

Name of Province

2. Delete form (code = " 0 ")

Code

Province code

当ファイルのインプット形式には、3種類あります。

1. Delete form (code = " 0 ")

Code

0

NIP Code

2. Amendment form (code = " 2 ")

Code

2

NIP code

Item Update code

Update Data

3. Addition form (code = " 1 ")

Addition form は 3 種類有ります。

3 - 1 First form (Seq - No = " 1 ")

Code

NIP Code

Seq - No

Personal Name

TEMPAT

TGL

DD MM YYYY

SEX

AGAMA

3 - 2 Second form (Seq - No = " 2 ")

Code

NIP code

Seq - No

Pendidikan Formal Name

Jurusan

Thn Lulus (YYYY)
 Tingkat Ijasah
 Beginning work
 Date (DD-MM-YY)
 Status
 Satminkal
 Kauin/Selum
 Name

3 - 3 Third form (Seq - No = " 3 ")

Code
 NIP code
 Seq - No
 Anak
 Tumlah
 Tanggungan
 Fangkat Gol Ruang
 TMT Beginning
 (DD-MM-YY)
 Tabatan Name

 TMT (DD-MM-YY)
 Masa Karja Thn
 Masa Karja Blm

XI. FILE LAYOUT

汎用レイアウト

サイト	その他	発行日	発行場所	発行部局	発行日
Edwards Table Meter		16, MAR. 83			

Project Number	Project #	Project Name	Project Address	Project City	Project State	Project Zip
89 99 9 (6)	99 947		Edwards Table Meter			

400 ch

Table Meter	Table Meter	Table Meter	Table Meter	Table Meter	Table Meter	Table Meter

Table Meter	Table Meter	Table Meter	Table Meter	Table Meter	Table Meter	Table Meter

Table Meter	Table Meter	Table Meter	Table Meter	Table Meter	Table Meter	Table Meter

汎用レイアウト

タイトル	その他	ページ
ETM Data		1
日	版	発行
19. MAR. 83		
発行番号	発行部	発行年
		5. 08/83

Province Code	Name of Province	FILLER	Code = "1"
999	X(30)	X(40)	Addition form

80 of Sequential

Province Code	FILLER	Code = "8"
999	X(40)	Delete form

Province Code	FILLER	Code = "8"
999	X(40)	Delete form

Province Code	FILLER	Code = "8"
999	X(40)	Delete form

汎用レライウト

71174	Management file of each direct file address	14 MAR 83	日	期	水	曜	日	月	年	1
-------	---	-----------	---	---	---	---	---	---	---	---

102 ch

Start address	End address	file name
9102 7167	19657	X(337)

--	--	--

--	--	--

--	--	--

汎用レライアウト

タイトル	その他	日	期	承認	担当	課	印	機	機
M.F. Data	Floppy disk	18	MAR	83					

80 ch
Sequential

Address key	File Name	code = "1" Addition form
First address 862	FILLER	
End address 987		

Address key	FILLER	code = "8" Delete form
First address 862		
End address 987		

Address key		
First address		
End address		

Address key		
First address		
End address		

1/5

1740 汎用レイアウト	11 MAR 83 手帳管理	11 MAR 83 手帳管理	11 MAR 83 手帳管理	11 MAR 83 手帳管理
-----------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

1740

KEY	APR	MAY	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC	JAN
Engel Code										
Mem										
9(9)	9(9)	9(9)	9(9)	9(9)	9(9)	9(9)	9(9)	9(9)	9(9)	9(9)

KEY	MAR	APR	MAY	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC
Engel Code										
Mem										
9(9)	9(9)	9(9)	9(9)	9(9)	9(9)	9(9)	9(9)	9(9)	9(9)	9(9)

KEY	JAN	FEB	MAR	APR	MAY	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV
Engel Code											
Mem											
9(9)	9(9)	9(9)	9(9)	9(9)	9(9)	9(9)	9(9)	9(9)	9(9)	9(9)	9(9)

KEY	DES	JAN	FEB	MAR	APR	MAY	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT
Engel Code											
Mem											
9(9)	9(9)	9(9)	9(9)	9(9)	9(9)	9(9)	9(9)	9(9)	9(9)	9(9)	9(9)

汎用レイアウト

ファイル	その値	月日 年 月 日 日 年 月 日 年 月 日				ページ 2/5
		日 月 年 月 日 日 年 月 日 年 月 日				
		日 月 年 月 日 日 年 月 日 年 月 日				
		日 月 年 月 日 日 年 月 日 年 月 日				
		日 月 年 月 日 日 年 月 日 年 月 日				
		日 月 年 月 日 日 年 月 日 年 月 日				
		日 月 年 月 日 日 年 月 日 年 月 日				
		日 月 年 月 日 日 年 月 日 年 月 日				

		(85) PER3 9MAS									
NOP	DES	JAN	PEB	MAR	APR	MEI	JUN	JUL	AET	SEP	OKT

		(86) KONSTRUKSI									

		(87)									

		(88) JUMLAH									

3/5

発行年 発行月 発行日 発行所 発行部 発行種別 発行種別 発行種別	
---	--

汎用レイアウト

	AGT	SEP	OCT	NOV	DEC	JAN	FEB	MAR	APR	MAY	JUN
(01)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)

	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC	JAN	FEB	MAR	APR	MAY
(02)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)

	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC	JAN	FEB	MAR	APR
(03)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)

	MAY	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC	JAN	FEB	MAR
(04)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)	S9(9)

4/5

その地

月 日 年 月 日 年 月 日 年 月 日 年 月 日 年

フリット

数量

作成者

汎用レイアウト

実績 (84)

APR	MAY	JUN	JUL	AUG	SET	OCT	NOV	DEC	JAN	FEB
59(9)	59(9)	59(9)	59(9)	59(9)	59(9)	59(9)	59(9)	59(9)	59(9)	59(9)

実績 (86)

MAR	APR	MAY	JUN	JUL	AUG	SET	OCT	NOV	DEC	JAN	FEB
59(9)	59(9)	59(9)	59(9)	59(9)	59(9)	59(9)	59(9)	59(9)	59(9)	59(9)	59(9)

実績 (87)

MAR	APR	MAY	JUN	JUL	AUG	SET	OCT	NOV	DEC	JAN
59(9)	59(9)	59(9)	59(9)	59(9)	59(9)	59(9)	59(9)	59(9)	59(9)	59(9)

実績 (88)

PEB	MAR	APR	MAY	JUN	JUL	AUG	SET	OCT	NOV	DEC
59(9)	59(9)	59(9)	59(9)	59(9)	59(9)	59(9)	59(9)	59(9)	59(9)	59(9)

5/5

タイトル	その題	日	月	年	承認 承認 承認	承認 承認 承認

汎用レイアウト

DATE		EXECUTION DATE	MANAGE DATE	Finance Address
JAN	MAR			
89.12.1	89.12.1	89.12.1	89.12.1	89.12.1

Main or sub Project name
 Sub code = "00" ... Main Project name
 Sub code = "02" ... Sub Project name

Demand Code Program Code Job Code Control Code Finance Address	
Main or sub Project name Sub code = "00" ... Main Project name Sub code = "02" ... Sub Project name	

Demand Code Program Code Job Code Control Code Finance Address	
Main or sub Project name Sub code = "00" ... Main Project name Sub code = "02" ... Sub Project name	

Demand Code Program Code Job Code Control Code Finance Address	
Main or sub Project name Sub code = "00" ... Main Project name Sub code = "02" ... Sub Project name	

汎用レイアウト

1/1

サイト名	その他	年月日	版	承認	提出	登録番号
Finance number update sheet 井上 謙太郎 16.MAR.83						
						作成者 井上 謙太郎

Project Code	910	X(69)	Filler	Code = "0" Delete form
Main				
Sub				

Project Code	910	X(69)	Main on Sub Project name Sub code = "00" Main Project name Sub Code = "00" Sub Project name	Code = "1" Addition form
Main				
Sub				

Project Code	910	X(69)	Budget				Code = "1" Addition form
Main			GAJI UPAH (01)	TANAH (02)	BAHAN (03)	PERALATAN PERK MESIN (04)	Filler X(71)
Sub			PERAKEL (07)	KONSTRUKSI LAJEN (06)	PERAKEL (07)	JUMLAH (91)	
Sub			91(6)	91(6)	91(6)	91(6)	
Sub			91(6)	91(6)	91(6)	91(6)	

Project Code	910	X(69)	Pola Area		Code = "2" Amendment form
Main					
Sub					

汎用レイアウト

サイト名	その他	月	日	延	承認	提出	金額	作成者
Monthly Data f.o. (Monthly data format)		16.	MAR.	83				S. [Signature]

Project Code	Monthly Data (Completed Amount)							
Main	GASU UPAH (01)	TANAH (02)	BAHAN (03)	PERALATAN MESIN (04)	PERJ. DIMAS (05)	KONSTRUKSI (06)	LAIN LAIN (07)	JUMLAH
9102	19,600	9,190	9,190	9,190	9,190	9,190	9,190	91,550

--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--	--

汎用レシート

ペーシ

サイト	その名	月	日	期	承認	期間	用途	金額	備考
Program file		16	MAR	02					S. Ojima

Name of Program	Filler
XC552	XC593

--	--

--	--

--	--

汎用ソフトウェア

プログラム			その他		月 日		提出月		提出日		提出者	
Program Data					17. MAR. 73						S. Oki	

99	Name of Program	Filler
	X(55)	X(23)

--	--	--

--	--	--

--	--	--

1

タイトル	その他	日	月	年	水出	式四	用出	登録番号	参照番号	作成者
DOI wind file		18	SEP	83						S. Gley

汎用レイアウト

DOI wind code	DOI wind Name
X(1652)	Filler

--

--

--

汎用レイアウト

タイトル	その他	日	版	承認	提出	変更番号	作成者
DOI Unit Data		19 MAR 93					S. Oki

DOI Unit Name	Filler
X(557)	X(532)

--

--

--

A-2 /

タイトル	その他	月	日	座	承認	社印	訂印番号
Department file data		19	MAR	83			
作成者 <i>E. Oly</i>							

汎用レシート

700 <i>Shayyacha</i>	Name of Department X(40)	Filler X(38)
-------------------------	-----------------------------	-----------------

--	--

--	--

--	--

汎用レアウト

タイトル	その他	年	月	日	版	承認	提出	承認者
Name of Donor File		●	15	MAR	83			作成者 S. Ito

Donor file	Name of Donor	Abbreviation Name of Donor	Filler
X (55)		X (10)	X (33)

--

--

--

汎用レイアウト

タイトル	その他	月	日	版	外題	在位	班	登録番号	ページ
Name of Donor Data	Floppy Disk	19	MAR	83					5. Uye

Name of Donor	Abbreviation	Name of Donor	Filler
X(15)	X(10)	X(10)	X(13)

--

--

--

汎用レイアウト

タイトル ページ 1/2

その種

Physical Master

22-MAR-83

作成者 S. Olyx

KEY	DATE	Physical Date (%)																
		FROM	TO	Weight Up to Allocation last year (months)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
Project No																		
Num	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)

KEY	DATE	Financial Date (in R1,000)																
		Allocation for this year	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
Project No																		
Num	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)

KEY	DATE	Progress Month															
		8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
Project No																	
Num	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)

KEY	DATE	Contract Description															
		Contract Number	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
Project No																	
Num	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)	9(7)

タイトル	その他	月	日	期	承認	印刷	登録	作成

汎用レイアウト

Contract Amount	9,171,000	Form	17/07/07	8,170,000	contractor	Project code	17/07/07
						BOB code	
						Address code	

--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--

タイトル	その他	日付	23 MAR 83	発行番号		1/2
Physical Master Data						
作成者 S Ota						

汎用レイアウト

KEY

Project No.	Main	Sub	Contract Code	Invoice Code
962				

FILLER

X(65)

KEY

Project No.	Main	Sub	Contract Code	Invoice Code	DATE	Physical Data (%)																			
						Schedule month																			
962					967																				
						10																			
						11																			
						12																			
						1																			
						2																			
						3																			

FILLER

X(65)

KEY

Project No.	Main	Sub	Contract Code	Invoice Code	DATE	Finance Data (in RP 1000)																			
						Schedule month																			
962					967																				
						10																			
						11																			
						12																			
						1																			
						2																			
						3																			

FILLER

X(65)

KEY

Project No.	Main	Sub	Contract Code	Invoice Code	DATE	Finance Data (in RP 1000)																			
						Schedule month																			
962					967																				
						10																			
						11																			
						12																			
						1																			
						2																			
						3																			

FILLER

X(22)

汎用レイアウト

アイテム	コード	年月日	種別	水廻り	出注	工事種別	2/2
Project Master Data							
作成者 S. Bly							

KEY	Project No	Main	Sub	Contract Code	Contract Amount	Filler
	9167			9167	9,167	X(100)

KEY	Project No	Main	Sub	Contract Code	Contract Description	Filler
	9167			9167	Contract Description	X(100)

KEY	Project No	Main	Sub	Contract Code	Contract	Filler
	9167			9167	Contract	X(100)
				104	Filler	X(100)

KEY	Project No	Main	Sub	Contract Code	Data	Filler
	9167			9167	Data	X(100)

1	その値	日	月	年	承認者	承認日
タイトル	Physical Monthly Data	24	MAR	83	S. Ohta	

汎用レアウト

KEY	Projector	162	77	932
	Main Set			
M	Physical Finance Program Data (K)	99	99	99
	Physical Program Data (K)			
	Physical Finance Program Data (RP 100)			
	Provision			
	FILLER			

汎用レイアウト

タイトル	その他	日	日	年	作成者	承認者	印刷者
Physical Table Master Data				23. MAR. 83	S. Ogiyama		

Province X(30)	Name of Province	FILLER X(40)	code = "I" Addition form
-------------------	------------------	-----------------	-----------------------------

Province FILLER X(30)		FILLER X(40)	code = "A" Delete form
-----------------------------	--	-----------------	---------------------------

Province			
----------	--	--	--

Province			
----------	--	--	--

汎用レシート

フリット	その他	月	日	原	水出	印出	記録番号	ページ
Personnel Master								1

5000 ch
Seg

NIP Code	Personnel Name	TEMPAT	TGL	SA SI SI SA	Name	Jurisdiction	Thy Waban I grade	Tempat I grade
9(9)	X(28)	9(8)	9(8)	9(8)	X(47)	X(18)	9(8)	X(10)

Beginning	Subst	ANAK	Fungkar	JABATAN	Tempat
9(2)	9(2)	9(2)	9(2)	JABATAN	Tempat
9(2)	9(2)	9(2)	9(2)	JABATAN	Tempat

FULLER									
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

FULLER									
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1/2

登録番号
所属部局
担当者

汎用レイアウト Personnel Master Data

PERSONAL DATA		TEMPAT	
NIP Code 9(9)	Personal Name X(25)	TGL X(20)	FILLER X(41)

PERSONAL DATA				PENDIDIKAN FORMAL			
NIP Code 9(9)	Name X(25)	Surabaya X(10)	Thn-Tempat Lulus MTT X(10)	Thn-Tempat Lulus Tjark X(10)	Begining week date DD-MM-YY X(6)	Status X(2)	Name Jawa/Suara X(20)

PERSONAL DATA		JABATAN		MASA KERJA	
NIP Code 9(9)	Update Data X(25)	Name X(25)	TMT DD-MM-YY 9(6)	TMT DD-MM-YY 9(6)	FILLER X(20)

PERSONAL DATA		Update Data	
NIP Code 9(9)	Update Data X(25)	FILLER X(25)	FILLER X(29)

K-5 2/2	
ポイント	その他
月	日
承認	利用
承認者	利用者

汎用レイアウト

NIP Code	FILLER
2(5)	K(2)

--	--

--	--

--	--



XIII. OUTPUT LAYOUT

101

1-900-6710-222 局 44. E 72

112-1-14 表
20050100
513750-0100

Financing

PROJECT NAME	TANAH (02)	BAHAN (03)	PERALATAN MESIN (04)	PERIBINNAS (05)	KONSTRUKSI (06)	LAIN PERBEL (07)	JUMLAH KETERANGAN
(01)	3	4	5	5	7	8	10
XXXXXX			XXXX				
000.000.000	000.000.000	000.000.000	000.000.000	000.000.000	000.000.000	000.000.000	000.000.000
000.000.000	000.000.000	000.000.000	000.000.000	000.000.000	000.000.000	000.000.000	000.000.000
000.000.000	000.000.000	000.000.000	000.000.000	000.000.000	000.000.000	000.000.000	000.000.000

Physical Report

SUBPROJECT NUMBER		CONTRACT DESCRIPTION		CONTRACT		CONTRACT AMOUNT			
WEIGHT		FINANCIAL DATA (LN DP. 1.000)							
ACTUAL THIS MO	TARGET TO DATE	VAR	TIME ELAPSED, C	BUDGET AMOUNT	DISB THIS MO	DISB AMOUNT	TODATE (%)	BALANCE	REMARKS
XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX
29.29-39	29.29-27-27								
222.19	220.99	-9.99	229.99	XX 22, 222, 224	23, 222, 229	23, 222, 229	229.99	---	---

目 次

(1983.10 ~ 1984.2)

1. 目 的	91
2. 作業場所	91
3. 期 間	91
4. 作業内容	91
5. 問題点について	92
6. 総 評	92
7. 携行機材	93

(Report in English (1983))

Contents	94
1. Schedule	95
2. Summary	98
3. Financial Progressed Monitoring System	101
4. Physical Progress Monitoring System	257

業 務 報 告 書

日本電気株式会社

派遣専門家 奥 成一

1) 作 業 目 的

モニタリングシステムの開発

2) 作 業 場 所

インドネシア・ブカシ (CGSC Project 内)

3) 作 業 期 間

昭和58年10月19日 - 昭和59年2月15日

4) 作 業 内 容

a) 昭和58年10月20日 - 10月28日

JICA (ジャカルタ) 事務所, かんがい局に着任挨拶に行く。

4ヶ月間の作業スケジュール作成

b) 昭和58年10月29日 - 11月4日

概要設計を行なった。

- ・データの流れ図作成
- ・アウトプット帳表類のチェック
- ・システム関連図の作成

c) 昭和58年11月5日 - 12月8日

システム詳細設計を行なった。

- ・システムフロー作成
- ・各種コード類のチェック及び作成
- ・アウトプット帳表の作成
- ・インプット帳表の作成
- ・ファイルレイアウトの作成

d) 昭和58年12月9日 - 12月24日

プログラム仕様書の作成

e) 昭和58年12月26日 - 昭和59年1月21日

プログラム作成

f) 昭和59年1月23日 - 2月5日

プログラムデバッグ及びテストラン

g) 昭和59年2月6日 - 2月15日

報告書のまとめ及び報告会を行なった。

上記a) - g)の作業を行ないました。尚、a) - c)の作業については、現地カウンターパートのIr. Kunhari に作業方法を説明しながら、作業を進めました。

5) 問題点について

a) 国内での資料として現地での作業内容を明確にして欲しい。現状は現地で初めて作業内容が明確になった。

b) 現地カウンターパートと共同で作業を進める場合カウンターパートの休暇が多く作業が遅れる場合、全て専門家がカバーしなければならない。短期専門家に付くカウンターパートは休暇を少なくするようにしてもらいたい。

6) 総 評

4ヶ月間でシステム分析からプログラムの作成、テストラン、オペレーション教育(当システムの処理方法)までを行なったが、各事項に於て、必要最小限を教育したにすぎず、今後当モニタリングシステムを運用していくには、コンピュータ室の援助が必要であろう。プログラム及びJCL関係については、今回は教育していないので、この所は、コンピュータ室が主に行なわなければならないであろう。

当モニタリングシステムに於いての変更点はインプット帳表の桁数の変更(6桁 -> 8桁)が出て来るであろう。

次期システムの開発としては、

- ・ローン管理(借入金の管理)
- ・プロジェクト管理

等が考えられます。

上記の様なシステムをCGSC内(モニタリング課)で開発が可能かどうか考えると、残念ながら不可能であろう。現地スタッフは、もう一度システム開発を行なった後であれば、可能と考えられる。

以上

7. 携 行 機 材

1. システム開発標準用紙 …………… 一式
2. システム開発プログラム…………… 一式
 - ステップス C バッチ編(マニュアル及び磁気テープ一巻)
 - ステップス C オンライン編(マニュアル及び磁気テープ一巻)

以上

CONTENTS

	Page
1. Schedule	1
2. Summary	4
3. Financial Progressed Monitoring System	7
3.1 System Definition	8
3.2 System Flow Chart	9
3.3 Report Specification	11
3.4 Code System	20
3.5 Standardization for Development	26
3.6 Output Design	29
3.7 Input Design	37
3.8 File Layout	50
3.9 General Flow Chart	57
3.10 Program Design	
(1) FPME01	66
(2) FPPM01	78
(3) FPPM02	89
(4) FPPQ01	110
(5) FPPA01	131
(6) FPPA02	152
4. Physical Progress Monitoring System	162
4.1 System Definition	163
4.2 System Flow Chart	164
4.3 Report Specification	166
4.4 Code System	175
4.5 Standardization for Development	181
4.6 Output Design	184
4.7 Input Design	190
4.8 File Layout	199
4.9 General Flow Chart	207
4.10 Program Design	
(1) PPME01	217
(2) PPPM01	228
(3) PPPM02	237
(4) PPPQ01	253
(5) PPPA01	267
(6) PPPA02	280

1. Schedule

I. Job Purpose

Making the Monitoring System for irrigation project in the Construction Guidance Service Center.

II. Job Schedule

19 Oct 1983	Arrived at Jakarta
20	Met with persons in JICA Jakarta Office, and the Construction Guidance Service Center.
21 to 26	Making schedule of the Monitoring System
27	Met with persons in Ministry of Public Work.
28	Met with persons in NEG Jakarta office.
29 Oct 1983	Development of System.
31 Oct 1983	1) System definition. a) Name of system b) Purpose of the system c) User of the system d) Range for collecting data
1 Nov 1983	Analysis of system. 1) Report Specification a) Output Report list b) Item List for each report
4 Nov 1983	2) System flow chart. a) Description of data flow. b) Relation among organizations. c) Function of each Organizations.
5 Nov 1983	Design 1) Code system a) Collecting of existing code. b) Decide of code systems c) Explanation of code systems.

- 2) Standardisation for development of Systems.
 - a) Naming
 - b) Output report format
- 3) Output design.
 - a) Output report list. (Final and temporary)
 - b) Report lay-out.
- 7 Dec, 1983
 - 4) Input design
 - a) Input data list
 - b) Design of data sheet
 - c) Explanation how to write the data sheet.
 - 5) File lay-out
 - a) File list
 - b) File lay out.
- 8 Dec, 1983
 - Flow Chart
 - 1) General flow chart
 - 2) Block flow chart
 - 3) Detail flow chart
 - 4) System flow chart
- 24 Dec, 1983
- 26 Dec, 1983
 - Coding (Written draft of Program)
- 20 Jan, 1984
- 23 Jan, 1984
 - Debugging
 - 1) Generation of test data
 - a) Selection of project
 - b) Collection data
 - c) Written the data sheets
 - 2) Job control language
 - a) Preparation for computer processing.
- 8 Feb, 1984

3) Test RUN

a) Processing.

9 Feb, 1984

Made the report and do the summary meeting.

15 Feb, 1984

2. SUMMARY

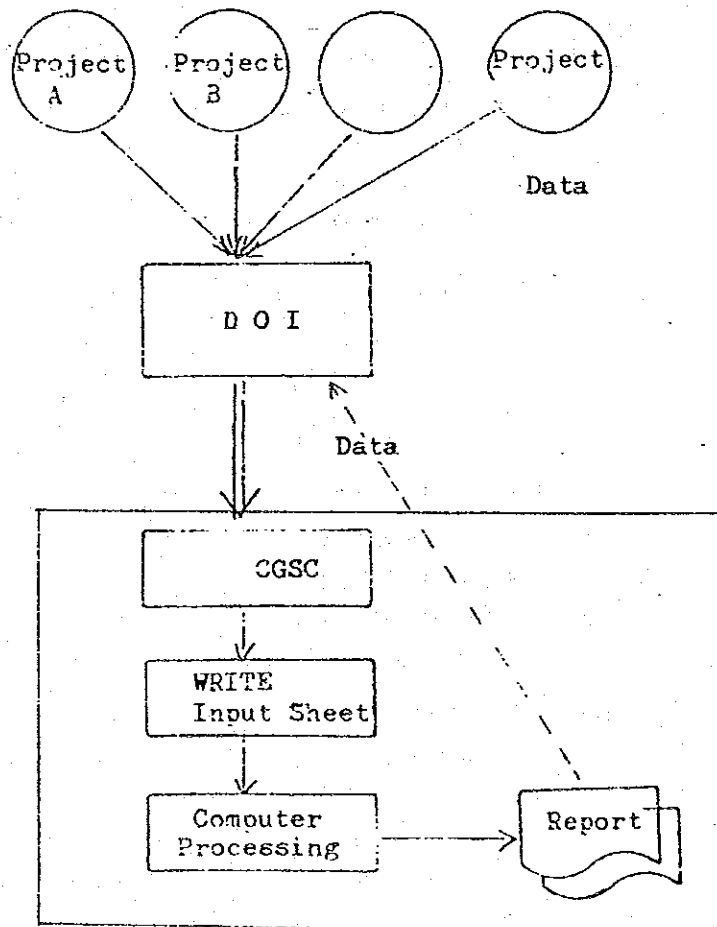
Monitoring system had been developed from Oct. 19, 1983 to Feb. 15, 1984.

Monitoring System has two systems.

One is Financial Progress Monitoring System.

The other is Physical Progress Monitoring System.

I. Data input flow



(2) CGSC Works

- 1) Write input data sheets
- 2) Input data to Floppy disk
- 3) Computer processing
- 4) Check Output Report
- 5) Make master file and maintenance

Input Sheet

(3) The Financial progress monitoring system has two Kinds.

- a) Making master file sheet (Financial file)
- b) Monthly data sheet

The Physical progress monitoring system has two Kinds.

- a) Making master file sheet (Physical file)
- b) Monthly data sheet.

Out Put Reports

(4) The Financial progress monitoring system has three Kinds.

- a) FPMS - PFOI Monthly project financial status summary
- b) FPMS - PF31 Quarterly project financial Status Summary
- c) FPMS - PF61 Annual project financial Status summary

The Physical progress monitoring system has three Kinds.

- a) PPMS - PF01 Monthly project progress report
- b) PPMS - PF31 Quarterly project progress report
- c) PPMS - PF61 Annual project Progress report

Programs

(5) The Financial progress monitoring system is composed of 6 programs.

The physical progress monitoring system is composed of 8 programs.

Programming language is FORTRAN

3. FINANCIAL PROGRESSED MONITORING SYSTEM

3.1. SYSTEM DEFINITION.

(Name of System)

Financial Progress Monitoring System

(F P M S)

(D E F I N I T I O N)

3.1.1. This system processes the financial progress condition data for on-going project within D O I

Number of data is about 2,000.

(500 subproject x 4 year)

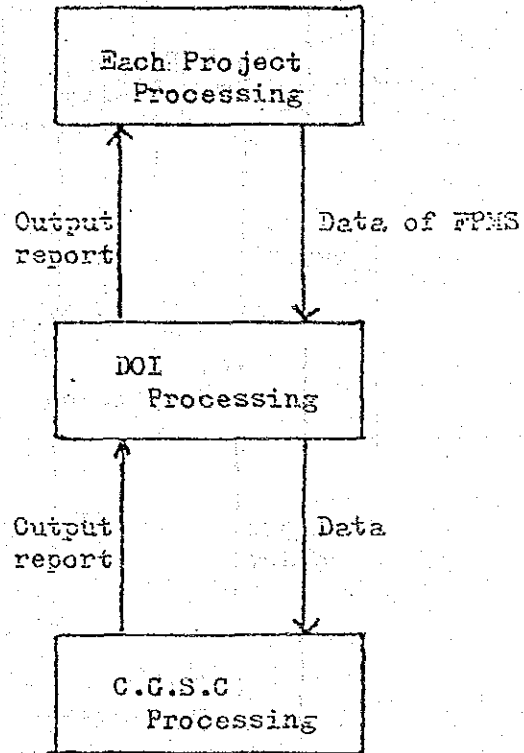
3.1.2. Master file is updated every month by F P M S data.

3.1.3. Data is stored on master file.

Master file is designed for 4 years.

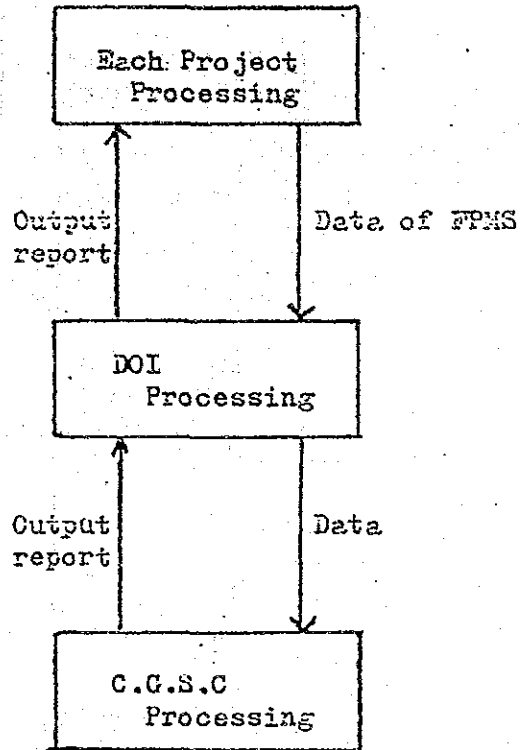
3.2 SYSTEM FLOW.

a). System flow chart.

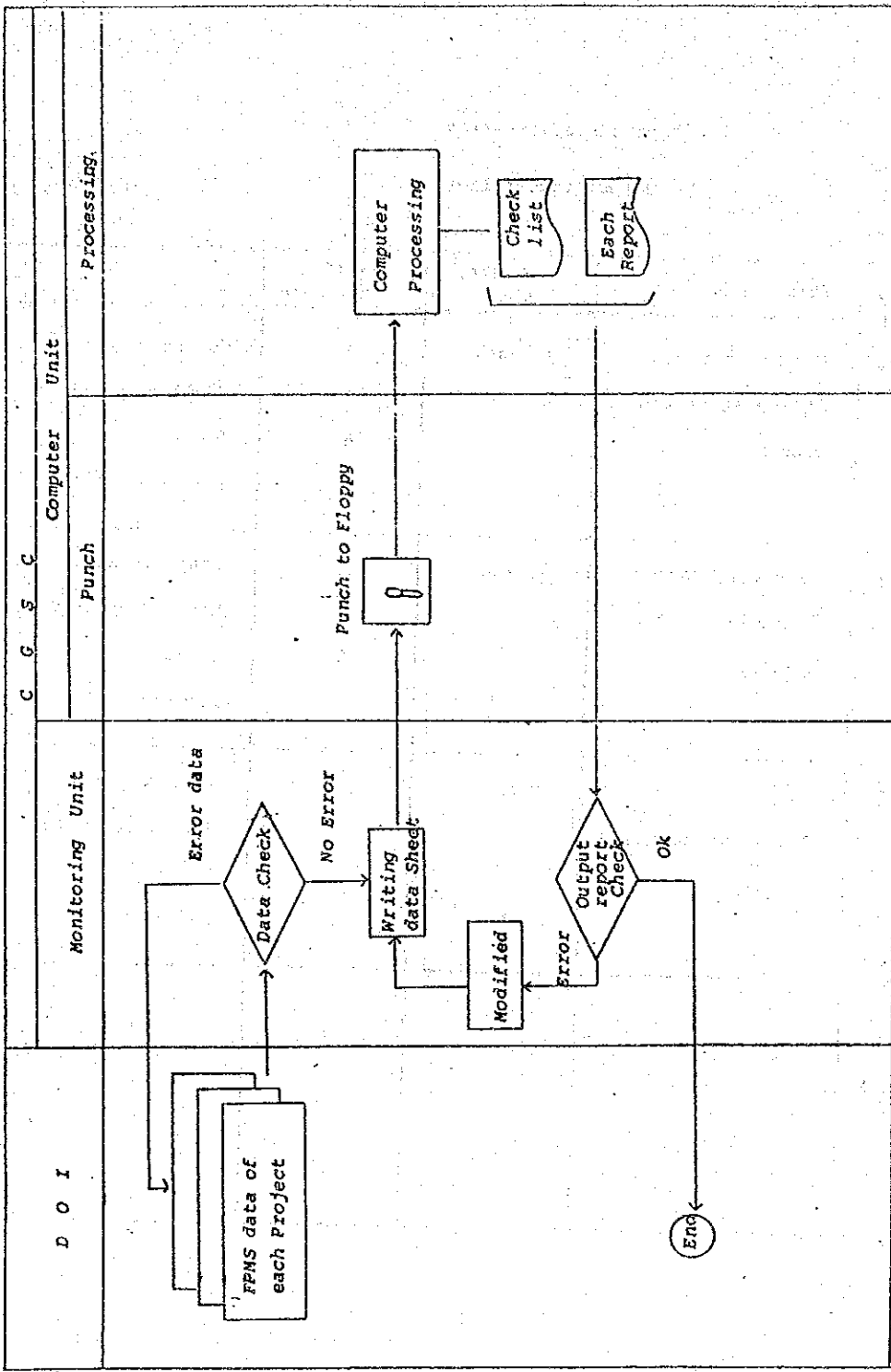


3.2 SYSTEM FLOW.

a). System flow chart.



b. Data Flow.



3.3. Report specification

3.3.1. Output report list

No	Report list name	Period/ time	No of duplicate	
1.	Monthly project	1 Month	1	Computer unit
	Financial status		1	Monitoring unit
	Summary		6	D O I
			1	Perintal
2.	Quarterly project	Quarter	1	Computer unit
	Financial status		1	Monitoring unit
	Summary		6	D O I
			1	Perintal
3.	Annual project	Year	1	Computer unit
	Financial status		1	Monitoring unit
	Summary		6	D O I
			1	Perintal

FPMs

3.3.2. Item list for each report

FUMS

REPORT NAME : MONTHLY PROJECT FINANCIAL STATUS SUMMARY					
No.	ITEM NAME	TYPE	No. of CHARACTER	REMARKS	
1.	ALLOATED BUDGET				
	- A P B N %				
	- B L N %				
	- TOTAL %				
2.	DISBURSEMENT SCHEDULE (THIS MONTH)				
	- A P B N %				
	- B L N %				
3.	ACTUAL DISBURSEMENT (THIS MONTH)				
	- A P B N %				
	- B L N %				
4.	ACTUAL CUMULATIVE SCHEDULE				
	- A P B N %				
	- B L N %				
5.	ACTUAL CUMULATIVE DISBURSEMENT				
	- A P B N %				
	- B L N %				
6.	VARIANCE				
	- A P B N %				
	- B L N %				
7.	TOTAL CONTROL KEY				
	- PROJECT KEY				
	- SUB-DIRECTORATE KEY				
	- PROVINCE KEY				
	- PROGRAM KEY				

REPORT NAME : QUARTERLY PROJECT FINANCIAL STATUS SUMMARY

No	Item name	Type	No. of Character	Remarks
1.	Allocated Budget			
	- APBN %			
	- BLN %			
	- TOTAL %			
2.	Disbursement Schedule (this quarter)			
	- APBN %			
	- BLN %			
3.	Actual Disbursement (this quarter)			
	- APBN %			
	- BLN %			
4.	Actual Cumulative Schedule			
	- APBN %			
	- BLN %			
5.	Actual Cumulative Disbursement			
	- APBN %			
	- BLN %			
6.	Variance			
	- APBN %			
	- BLN %			
7.	Total Control Key			
	- Project key			
	- Sub-Directorate key			
	- Province key			
	- Program key			

REPORT NAME : ANNUAL PROJECT FINANCIAL STATUS SUMMARY

No	ITEM NAME	TYPE	NO. OF CHARACTER	REMARKS
1.	Allocated Budget - APBN % - BLN % - TOTAL %			
2.	Disbursement Schedule (this year) - APBN % - BLN %			
3.	Actual Disbursement (this year) - APBN % - BLN %			
4.	Actual Cumulative Schedule - APBN % - BLN %			
5.	Actual Cumulative Disbursement - APBN % - BLN %			
6.	Variance - APBN % - BLN %			
7.	Total Control key - Project key - Sub-Directorate key - Province key - Program key			

3.3.3. Output report out-line

MONTHLY PROJECT FINANCIAL
STATUS SUMMARY

	01	02	03	04	05	06	07	TOTAL
(Sub-Project Name)								
Allocated Budget								
AFBN %	—	—	—	—	—	—	—	—
BLN \$	—	—	—	—	—	—	—	—
TOTAL \$	—	—	—	—	—	—	—	—
Disbursement Schedule (this month)								
AFBN %								
BLN \$								
Actual Disbursement (this month)								
AFBN %								
BLN \$								
Actual Cumulative Schedule								
AFBN %								
BLN \$								
Actual Cumulative Disbursement								
AFBN %								
BLN \$								
Variance								
AFBN %								
BLN \$								

Total Control key : * Project key
 * Sub-Directorate key
 * Province key
 * Program key

QUARTERLY PROJECT FINANCIAL
STATUS SUMMARY

	01	02	03	04	05	06	07	TOTAL
(Sub-Project name)								
Allocated Budget								
APBN %	-	-	-	-	-	-	-	-
BLN %	-	-	-	-	-	-	-	-
TOTAL %	-	-	-	-	-	-	-	-
Disbursement Schedule (this quarter)								
APBN %								
BLN %								
Actual Disbursement (this quarter)								
APBN %								
BLN %								
Actual Cumulative Schedule								
APBN %								
BLN %								
Actual Cumulative Disbursement								
APBN %								
BLN %								
Variance								
APBN %								
BLN %								

Total Control key : * Project key
 * Sub-Directorate key
 * Province key
 * Program key

ANNUAL PROJECT FINANCIAL
STATUS SUMMARY

	01	02	03	04	05	06	07	TOTAL
(Sub-Project Name)								
Allocated Budget								
APBN %								
BLN %								
TOTAL %								
Disbursement Schedule (this year)								
APBN %								
BLN %								
Actual Disbursement (this year)								
APBN %								
BLN %								
Actual Cumulative Schedule								
APBN %								
BLN %								
Actual Cumulative Disbursement								
APBN %								
BLN %								
Variance								
APBN %								
BLN %								

Total Control key : - Project key
 - Sub-Directorate key
 - Province key
 - Program key

3.4. Code system

3.4.1. Collecting of existing code

No	Name of existing code	Number of desg	Remarks
1	Project code	6	
2	Sub-Project code	1	
3	Program code	2	
4	Province code	2	
5	DOI Unit code	2	
6	Update code	1	The code Use maintained the master file
7	Data sequence code	2	The code control input format
8	Product year code	2	The code is Processing year
9	Allocated budget year	2	The code is the first allocated year
10	Contract code	3	
11	Contract number code	25	

Code name

DOI UNIT code

25 on

No	Code	Name
01	01	Bagian Tata Usaha
02	02	Sub-Dit. Binlak 01 Sub-Direktorat Pembinaan Pelaksanaan I
03	03	Sub-Dit. Binlak 02 Sub-Direktorat Pembinaan Pelaksanaan II
04	04	Sub-Dit Perenc. Teknis Sub-Direktorat Perencanaan Teknis
05	05	Sub-Dit Pemugaran Sub-Direktorat Pemugaran
06	06	Sub-Dit Pembinaan E & P Sub-Direktorat Pembinaan Eksploitasi & Pemeliharaan

Code name

PROGRAM code

45 ch

No	Code	Name
01	01	Prog. Perb. & Peningk Irgs Program Perbaikan dan Peningkatan Irigasi.
02	02	Prog. Pemb. Jar. Irgs. Baru Program Pembeinaan Jaringan Irigasi Baru.
03	03	Prog. Pengemb. Drah. Rawa Program Pengembangan Daerah Rawa.
04	04	Prog. Dik-Lat Pengairan Program Pendidikan dan Latihan Pengairan.
05	05	Prog. Penelitian Pert & Pengairan Program Penelitian Pertanian dan Pengairan.
06	06	Prog. Penyemp. Eff. Apar. Pem. & Pengair. Program Penyempurnaan Efisiensi Aparatus Pemerintah dan Pengawasan.
07	07	Prog. Penyemp. Pras. Fisik Pem Program Penyempurnaan Prasarana Fisik Pemerintah.
08	08	Prog. Penyel. Hutan Tanh & Air Program Penyelamatan Hutan Tanah dan Air.
09	09	Prog. Pembin. Sumber Alam & Lingk Hidup Program Pembinaan Sumber Alam dan Lingkungan Hidup.

KODE - KODE PROPINSI DI INDONESIA :

01. A C E H.
02. SUMATERA UTARA.
03. SUMATERA BARAT.
04. R I A U.
05. J A M B I.
06. SUMATERA SELATAN.
07. BENGKULU.
08. LAMPUNG.
09. D.K.I. JAKARTA.
10. JAWA BARAT.
11. D.I. YOGYAKARTA.
12. JAWA TENGAH.
13. JAWA TIMUR.
14. KALIMANTAN BARAT.
15. KALIMANTAN TENGAH.
16. KALIMANTAN SELATAN
17. KALIMANTAN TIMUR.
18. SULAWESI UTARA.
19. SULAWESI TENGAH.
20. SULAWESI SELATAN
21. SULAWESI TENGGARA.
22. M A L U K U.
23. B A L I.
24. NUSA TENGGARA BARAT.
25. NUSA TENGGARA TIMUR.
26. IRIAN JAYA.
27. TIMOR TIMUR.



3.4.2. Decide of code systems

No	Name	Old	New	Number	Output name character
1	Project code	0	/	84	40 ch.
2	Sub-Project code	0	/	150	40 ch.
3	Program code	0	/	9	45 ch.
4	Province code	0	/	27	20 ch.
5	DCI Unit code	0	/	6	25 ch.
6	Update code	/	0	/	/
7	Data Sequence code	/	0	/	/
8	Product year code	/	0	/	/
9	Allocated budget year	/	0	/	/
10	Contract code	/	0	/	30 ch.
11	Contract number code	0	/	/	25 ch.

Old : DCI already Using

New : This system Using new code.



3.4.3 Explanation of code system

Explanation of already using code was omitted.

This page explain new code of this system.

Name of new code.	Explanation
Update code	This code Use updating of the master file. The function has 3 kinds. Code "1" is addition. Code "0" is delation. Code "2" is update.
Data Sequence code	This code use updating of the master file The function control form of data. The code is written each data sheet.
Product year code	This code indicated processing year. ex). 82/83 \Rightarrow 82 83/84 \Rightarrow 83
Allocated budget year.	This code indicated the first allocated year. This code is the same product year code, but data of carry-over budget differ it. When data of carry-over budget write the first allocated year.

3.5 Standardization for development of systems.

3.5.1 Naming.

a). Name of Program.

Begin with FE within 6 Characters.

b). Name of job control language macro.

Begin with FE within 6 characters.

c). Name of master file.

Begin with FP within 6 characters.

d). Name of output report.

A

 -

E	C	D
---	---	---

 MAX 11 Characters.

A is system name. "FPMS"

B is "P" or "D" .

"P" is outputting to printer.

"D" is outputting to work-station.

C is "F" or "T".

"F" is final report.

"T" is temporality report.

D. is sequence number.

3.5.2 Output report format.

a). One inch write 6 lines.

b). One line is 132 characters.

c). Using sheet is free format roll paper.

d). Print lay out.

FPMS

Space	2	66
C.G.S.C. Information head 2 line	2	
Space	2	
Each item indication head	5	
Space	2	
Each data .	50	
Space	3	

3.6 Output design

3.6.1 Output report list

No	Name	Explanation
01	FPMS - PF 01	Monthly project financial status summary
02	FPMS - PF 31	Quarterly project financial status summary
03	FPMS - PF 51	Annual project financial status summary
04	FPMS - PT 02	Output for checking master file
05	FPMS - PT 03	Output for checking monthly data
06	Updating list of SLNTH	Output automatically of SLNTH. The report is maintained the data
07	Updating list of SLNTH	Output automatically of SLNTH ? The report is monthly data.

プリントアウト

FPRS Quarterly Progress FINANCIAL STATUS SUMMARY		14. Dec. 1957		2		10		11		12		13		14	
DIREKTORAT JENDERAL PENGANTARA DIREKTORAT BINAAN PROYEK FINANSIAL BANGUNAN PROGRAM PROVINSI		MALLIENAS PANGSI 04		MALLIENAS PANGSI 04		MALLIENAS PANGSI 04		MALLIENAS PANGSI 04		MALLIENAS PANGSI 04		MALLIENAS PANGSI 04		MALLIENAS PANGSI 04	
ALOKASI BUDGET		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174	
APOR		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174	
DIB		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174	
DIBU		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174	
DISBURSIFIKASI (THIS QUARTER)		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174	
APOR		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174	
DIBU		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174	
ACTUAL DISBURSIFIKASI (THIS QUARTER)		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174	
APOR		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174	
DIBU		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174	
CUMULATIVE SCHEDULE		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174	
APOR		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174	
DIBU		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174	
ACTUAL CUMULATIVE DISBURSIFIKASI		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174	
APOR		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174	
DIBU		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174	
BALANCE		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174	
APOR		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174	
DIBU		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174		277,322,174	

3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

PROJECT INFORMATION		FUNDING		STATUS		COST		ACQUISITION		DISBURSEMENT		ACTUAL		VARIANCE	
PROJECT NO.	PROJECT NAME	FUND NO.	FUND NAME	STATUS	PERCENTAGE	ACTUAL COST	BUDGETED COST	ACQUISITION COST	DISBURSEMENT COST	ACTUAL DISBURSEMENT	BUDGETED DISBURSEMENT	ACTUAL DISBURSEMENT	BUDGETED DISBURSEMENT	ACTUAL DISBURSEMENT	BUDGETED DISBURSEMENT
1	PROJECT NO. 1001	1001	GENERAL	100%	100%	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000
2	PROJECT NO. 1002	1002	GENERAL	100%	100%	2000000	2000000	2000000	2000000	2000000	2000000	2000000	2000000	2000000	2000000
3	PROJECT NO. 1003	1003	GENERAL	100%	100%	3000000	3000000	3000000	3000000	3000000	3000000	3000000	3000000	3000000	3000000
4	PROJECT NO. 1004	1004	GENERAL	100%	100%	4000000	4000000	4000000	4000000	4000000	4000000	4000000	4000000	4000000	4000000
5	PROJECT NO. 1005	1005	GENERAL	100%	100%	5000000	5000000	5000000	5000000	5000000	5000000	5000000	5000000	5000000	5000000
6	PROJECT NO. 1006	1006	GENERAL	100%	100%	6000000	6000000	6000000	6000000	6000000	6000000	6000000	6000000	6000000	6000000
7	PROJECT NO. 1007	1007	GENERAL	100%	100%	7000000	7000000	7000000	7000000	7000000	7000000	7000000	7000000	7000000	7000000
8	PROJECT NO. 1008	1008	GENERAL	100%	100%	8000000	8000000	8000000	8000000	8000000	8000000	8000000	8000000	8000000	8000000
9	PROJECT NO. 1009	1009	GENERAL	100%	100%	9000000	9000000	9000000	9000000	9000000	9000000	9000000	9000000	9000000	9000000
10	PROJECT NO. 1010	1010	GENERAL	100%	100%	10000000	10000000	10000000	10000000	10000000	10000000	10000000	10000000	10000000	10000000

